

## 医療関係従事者

(各年12月31日現在)

年 別	総 数	医 師	歯科医師	薬剤師	助産師	看護師 (准看護師含)	栄養士
平成18年	1,166	136	36	109	20	841	24
20年	1,223	135	37	112	22	894	23
22年	1,252	144	36	112	24	911	25
24年	1,268	135	36	114	32	934	17
26年	1,301	134	29	124	30	960	24

## 医療施設

(各年12月31日現在)

年 別	総数		病院		診療所		歯科診療所
	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数	
平成23年	81	1,143	5	1,079	54	64	22
24年	81	1,113	5	1,045	54	68	22
25年	81	1,093	5	1,034	54	59	22
26年	79	1,091	5	1,032	52	59	22
27年	79	1,091	5	1,032	52	59	22

## 市立敦賀病院の病床数

(平成27年4月1日現在)

一般病床	感染症病床
330床	2床

資料：市立敦賀病院

## 市立敦賀病院延患者数

(単位：人)

年度別	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
外来	176,631	177,200	179,292	177,235	175,061
入院	104,761	98,625	103,962	99,380	94,618

資料：市立敦賀病院

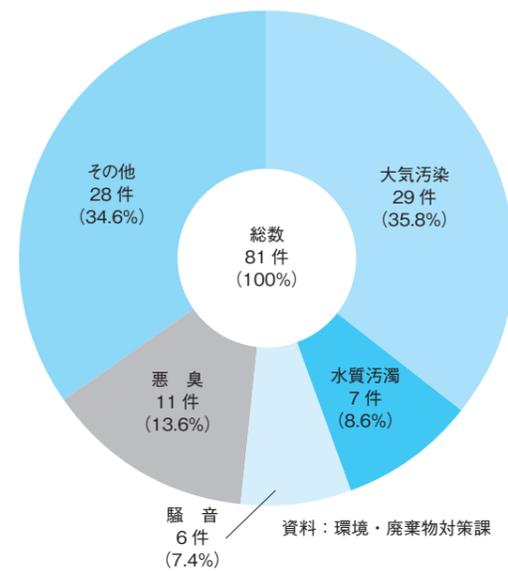
## ごみ処理の状況

(単位：t)

年度別	搬 入 量									
	燃やせるごみ	資源ごみ	粗大ごみ	小型複合ごみ	埋立ごみ	水銀含有ごみ	ペットボトル	古紙	魚腸骨	計
平成22年度	19,317	1,983	2,723	134	537	44	270	2,180	291	27,479
23年度	19,924	1,921	2,383	134	330	40	247	2,104	281	27,364
24年度	19,716	1,872	2,509	128	351	39	229	1,974	284	27,102
25年度	19,272	1,831	2,468	125	308	33	215	1,880	287	26,419
26年度	19,200	1,617	2,193	116	353	29	227	1,763	280	25,778

資料：清掃センター

## 公害苦情件数 (平成26年度)



## 資源回収量

(単位：t)

区 分	平成24年度	平成25年度	平成26年度
アルミ缶プレス	118.27	112.53	116.82
スチールプレス	209.68	211.22	172.96
破 碎 鉄	184.35	146.54	140.79
粗 大 金 属 類	413.31	385.06	355.06
小 型 家 電	18.38	19.00	18.80
水 銀 含 有 ご み	39.15	33.40	28.85
被 覆 電 線	2.52	4.42	2.63
プラスチック減容物	171.00	184.24	180.18
ペットボトル圧縮物	190.99	180.25	187.52
カレット 透明	177.34	167.65	156.06
カレット その他色	384.10	404.27	360.53
古 紙 類	2,361.89	2,245.47	2,089.86
魚 腸 骨	283.50	287.28	279.60
二 次 電 池	0.14	0.13	0.15
合 計	4,554.62	4,381.46	4,089.81

資料：清掃センター

## リサイクル率・1人1日当たりごみ排出量

区 分	平成24年度	25年度	26年度
リサイクル率	16.8%	16.6%	15.9%
1人1日当たりごみ排出量	1,087 g	1,066 g	1,047 g

資料：清掃センター

## JR敦賀駅の乗車人数(1日平均)

(各年度3月31日現在)(単位：人)

年 度 別	乗 車 人 数		
	合 計	普 通	定 期
平成22年度	3,873	2,614	1,259
23年度	3,885	2,651	1,234
24年度	3,488	2,275	1,213
25年度	3,386	2,113	1,273
26年度	3,365	2,108	1,257

資料：JR敦賀駅

## 自動車台数の状況

(各年度3月31日現在)(単位：台)

年度別	総数	貨物車	バス	乗用車	特種用途車	大型特殊車	軽自動車	二輪車
平成22年度	53,044	4,407	215	24,274	860	515	21,186	1,587
23年度	53,760	4,437	217	24,406	864	528	21,721	1,587
24年度	54,036	4,388	210	24,228	875	529	22,190	1,616
25年度	54,583	4,439	210	23,865	866	539	23,022	1,642
26年度	55,293	4,397	210	23,652	866	569	23,972	1,627

資料：中部運輸局福井運輸支局

## 海洋出入貨物の状況

(各年12月31日現在)(単位：t)

年 別	平成22年						平成23年						平成24年						平成25年						平成26年						
	輸移出	外 国	内 国	計	輸移入	外 国	内 国	計	輸移出	外 国	内 国	計	輸移入	外 国	内 国	計	輸移出	外 国	内 国	計	輸移入	外 国	内 国	計							
輸移出	337,367	5,151,174	5,488,541	500,873	5,196,852	5,697,725	541,707	5,176,164	5,717,871	551,331	5,251,491	5,802,822	453,392	5,410,989	5,864,381	輸移入	2,803,513	5,416,428	8,219,941	3,350,777	5,629,953	8,980,730	3,304,286	5,504,481	8,808,767	3,431,227	5,771,239	9,202,466	3,148,806	5,790,872	8,939,678

資料：県敦賀港湾事務所

## 入港船舶の状況

(各年12月31日現在)

年 別	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
外航 隻数	320	333	399	399
総トン数	3,496,948	3,356,580	4,020,946	3,983,825
内航 隻数	1,760	1,692	1,771	1,737
(その他を含む) 総トン数	10,956,508	10,470,899	10,527,129	10,405,182
総 数 隻数	2,080	2,025	2,170	2,136
総トン数	14,453,456	13,827,479	14,548,075	14,389,007

資料：県敦賀港湾事務所

## フェリー利用の状況

(各年12月31日現在)

年 別	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
入出港回数(回)	801	775	754	767	775
乗客総数(人)	64,742	66,803	67,442	65,203	71,674
トラック等(台)	92,719	88,642	93,318	94,449	91,123
乗 用 車(台)	29,993	36,433	37,697	37,288	32,285

資料：新日本海フェリー(株敦賀支店)

## 出入貨物品種別の状況

(平成27年12月31日現在)(単位：t)

品 名	輸 移 出		輸 移 入	
	内国	外国	内国	外国
野菜・果物	11,068		105,720	69
石 灰 炭				2,808,143
石 灰 石			454,165	
非 金 属 鉱 物	15,101		228,815	100,626
完成自動車	4,321,410		3,928,500	
その他輸送機械	350,070	42,883	441,390	23,184
セメント	73,166	137,409	20	
重 油	50,978		51,460	
化学薬品	7,085		116,824	29,766
紙・パルプ	10,380	1,615	99,780	657
その他製造工業品	168,329	3,661	11,965	15,848
再 利 用 資 材	37,604	114,407	56,448	144
そ の 他	365,798	153,417	295,785	170,369
合 計	5,410,989	453,392	5,790,872	3,148,806

資料：県敦賀港湾事務所

### 福祉施設の状況

(各年度4月末現在)

年度別	乳児院 (白梅学園)			養護施設 (白梅学園)			児童厚生施設			児童文化センター			保育園			指定障害者支援施設 (やまびこ園)				障害者通所施設			児童デイサービスセンター		子ども発達支援センター		福祉総合センター		隣保館(三島会館)			養護老人ホーム		
	施設数	定員	収容人員	施設数	定員	収容人員	児童館	児童センター	児童遊園	センター	園数	定員	入所人員	施設数	定員	入所人員	施設数	定員	入所人員	施設数	定員	入所人員	施設数	定員	入所人員	施設数	定員	入所人員	施設数	定員	入所人員			
																																入所	通所	入所
平成23年度	1	9	6	1	50	35	2	1	1	1	22	1,940	1,927	1	30	20	27	23	3	116	118	1	1	1	1	1	30	30						
24年度	1	9	7	1	50	34	2	1	1	1	21	1,930	1,942	1	30	20	28	26	4	116	106	1	1	1	1	1	30	30						
25年度	1	9	8	1	50	40	2	1	1	1	21	1,990	1,960	1	30	20	28	26	5	126	116	1	1	1	1	1	30	30						
26年度	1	9	7	1	50	35	2	1	1	1	21	1,990	1,972	1	30	20	27	24	5	140	135	1	1	1	1	1	30	30						
27年度	1	9	7	1	50	37	2	1	1	1	21	1,990	1,924	1	30	20	26	27	5	140	143	1	1	1	1	1	30	30						

資料：地域福祉課、児童家庭課

### 生活保護の状況

(各年度3月31日現在)

年度別	被保護世帯数 (世帯)	被保護人員 (人)	保護率 (百人当たり) (%)	保護費 総額 (千円)	生活 扶助 (千円)	住宅 扶助 (千円)	教育 扶助 (千円)	医療 扶助 (千円)	介護 扶助 (千円)	出産 扶助 (千円)	生業 扶助 (千円)	葬祭 扶助 (千円)	施設 事務費 (千円)
平成22年度	220	277	0.40	543,136	153,242	36,176	1,808	329,641	6,512	0	421	1,637	13,699
23年度	234	300	0.44	523,084	157,189	37,243	1,697	300,520	8,870	0	1,034	613	15,918
24年度	244	308	0.45	554,081	164,821	39,409	1,930	321,925	8,794	0	565	855	15,782
25年度	244	306	0.45	507,944	166,664	41,792	1,275	270,096	8,051	0	614	1,382	18,070
26年度	248	308	0.46	507,201	165,669	43,321	1,695	269,527	8,050	0	731	902	17,306

資料：地域福祉課

### 国民健康保険の状況

(各年度3月31日現在)

年度別	加入状況		保険給付費							高額医療費 (千円)	その他の 給付 (千円)
	被保険世帯数 (世帯)	被保険者数 (人)	療養諸費用 (千円)					保険者負担額 (千円)			
			一般	歯科	薬剤	療養費	計				
平成22年度	10,071	17,305	4,460,881	322,203	743,626	55,048	5,581,758	4,047,906	506,771	38,861	
23年度	9,940	17,008	4,521,619	319,814	839,172	57,074	5,737,679	4,161,105	533,713	41,849	
24年度	9,778	16,587	4,498,518	328,714	869,808	52,077	5,749,117	4,175,875	547,048	37,563	
25年度	9,675	16,153	4,505,994	324,702	946,993	60,703	5,838,392	4,251,397	556,315	42,393	
26年度	9,538	15,710	4,487,822	314,936	969,675	52,186	5,824,619	4,250,103	559,494	29,655	

資料：国保年金課

### 国民年金の状況

(各年度3月31日現在)

年度別	国民年金支給状況					年金加入状況			
	老齢給付	障害給付	遺族給付	計	1号(件)	任意(件)	3号(件)	計(件)	
平成25年度	件数(件)	15,580	968	168	16,716	7,338	66	5,607	13,011
	金額(千円)	10,289,251	831,518	123,463	11,244,232				
26年度	件数(件)	16,232	986	168	17,386	7,006	53	5,464	12,523
	金額(千円)	10,667,354	832,195	124,178	11,623,727				

資料：国保年金課

### 介護保険施設の状況

(各年6月末現在)

年別	介護老人福祉施設		介護老人保健施設		介護療養型医療施設	
	施設数	定員	施設数	定員	施設数	定員
平成23年	4	287	4	295	1	60
24年	4	287	4	295	1	60
25年	4	287	4	295	1	60
26年	4	287	4	295	1	60
27年	4	287	4	295	1	60

資料：介護保険課

### 介護保険認定者の状況

(各年10月末現在)

年別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
平成23年	304	421	575	504	352	358	341	2,855
24年	329	421	607	497	377	356	342	2,929
25年	372	434	623	479	422	382	356	3,068
26年	403	453	650	550	439	357	367	3,219
27年	364	474	646	602	439	368	397	3,290

資料：介護保険課

### 電灯・電力消費の状況

(各年度3月31日現在) (単位：MWh)

年度別	電灯	電力					合計
		業務用	小口	大口	その他	計	
平成22年度	220,792	142,973	57,308	431,695	10,296	642,272	863,064
23年度	217,761	138,854	53,579	455,212	10,094	657,739	875,500
24年度	214,592	135,814	49,069	433,099	9,372	627,354	841,946
25年度	209,862	135,659	49,169	424,731	7,744	617,303	827,165
26年度	204,889	131,604	47,573	419,098	8,870	607,145	812,034

※電灯の使用電力量については、定額、従量、その他の合計で記載してあります。

資料：北陸電力株数営業所

### 都市ガス消費量

(各年12月31日現在) (単位：m³)

年別	総数	家庭用	工業用	商業用	その他
平成23年	1,160,183	644,546	—	237,632	278,005
24年	1,155,842	625,372	—	250,943	279,527
25年	1,083,046	589,902	—	236,542	256,602
26年	1,062,965	582,205	—	233,474	247,286
27年	1,037,943	561,700	—	237,868	238,375

※45MJ/m³ベース 資料：数質ガス課

### 上水道の状況

(各年度3月31日現在)

年度別	給水戸数	給水人口	取水量	配水管総延長	総配水量	有収水量	水道料金
平成22年度	27,359戸	67,011人	11,314,258m³	363,962m	11,314,258m³	10,191,778m³	929,463千円
23年度	27,435	66,659	11,222,044	364,234	11,222,044	10,365,793	949,214
24年度	27,133	66,192	10,935,480	365,036	10,935,480	10,126,367	927,139
25年度	27,218	65,845	10,731,834	365,419	10,731,834	9,980,606	917,977
26年度	27,337	65,386	10,520,323	367,261	10,520,323	9,759,112	897,094

資料：上水道課

## ●学校

(各年度5月1日現在)

区分	年度別	園・学校	学級数	児・生徒数	教職員数
幼稚園	平成23年度	5	21	480	52
	24年度	5	18	502	53
	25年度	5	19	485	62
	26年度	5	24	435	63
	27年度	5	23	402	55
小学校	平成23年度	15	157	4,021	252
	24年度	15	157	3,908	259
	25年度	15	158	3,847	267
	26年度	15	161	3,828	269
	27年度	15	157	3,757	256
中学校	平成23年度	7	83	2,127	164
	24年度	7	85	2,123	165
	25年度	7	82	2,065	163
	26年度	6	74	1,935	148
	27年度	6	73	1,920	143

資料：教育政策課、早翠幼稚園、敦賀教会幼稚園

## ●高校

(各年度5月1日現在)

区分	年度別	学級数	生徒数	教職員数
敦賀高校	平成25年度	23	793	71
	26年度	24	842	75
	27年度	24	851	79
敦賀工業高校	平成25年度	12	388	55
	26年度	12	386	53
	27年度	12	373	53
敦賀気比高校	平成25年度	21	632	86
	26年度	21	642	86
	27年度	21	685	86

資料：各高校

## ●中学卒業生の進路状況(平成26年度)

卒業生総数	進学者	就 職 者							その他
		市内	県内	京阪神	中京	関東	その他	計	
658	653	3	0	0	0	0	0	3	2

資料：教育政策課

## ●高校卒業生の進路状況(平成26年度)

区分	卒業生総数	進学者	就 職 者							その他
			市内	県内	京阪神	中京	関東	その他	計	
敦賀高校	273	218	28	9	4	1	2	1	45	10
敦賀工業高校	135	24	59	15	15	6	3	12	110	1
敦賀気比高校	184	127	36	9	4	2	0	2	53	4

資料：各高校

## ●市立社会教育施設等

(平成28年1月1日現在)

施設名	所在地	施設内容
生涯学習センター	東洋町	事務室1、談話室1、研修室3 鉄骨造2階建・延面積465㎡
東浦公民館	五幡	事務室1、和室2、ホール1、研修室2、調理実習室1 鉄筋コンクリート2階建・延面積880㎡
北公民館	曙町	事務室1、図書室1、研修室2、和室2、ホール1、調理実習室1 鉄筋コンクリート3階建・延面積797㎡
南公民館	本町2丁目	事務室1、研修室2、和室2、調理実習室1、ホール1 鉄筋コンクリート3階建・延面積1,780㎡
西公民館	三島町2丁目	事務室1、展示ホール1、美術工芸室1、調理実習室1、小ホール1、大ホール1、研修室3、談話室1、和室1、特別会議室1 鉄筋コンクリート3階建・延面積2,066㎡
東郷公民館(東郷コミュニティセンター)	井川	事務室1、和室2、研修室1、ホール1、調理実習室1、会議室1、体育館1 公民館 鉄筋コンクリート2階建(一部鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建)・延面積847㎡
中郷公民館	羽織町	事務室1、研修室1、調理実習室1、ホール1、会議室2、和室2 鉄筋コンクリート2階建・延面積1,082㎡
愛発公民館	足田	事務室1、会議室1、ホール1、研修室2、和室1、調理実習室1、体育館1、その他(工芸室、多目的室等) 公民館 鉄筋コンクリート3階建(1・2階)・延面積1,960㎡ 体育館 鉄骨鉄筋コンクリート造平屋建・延面積1,020㎡
栗野公民館	御名	事務室1、会議室1、サロン1、大ホール1、小ホール1、研修室3、研修室(和室)1、料理実習室1、託児室1、図書室1、創作室1、屋上広場1 鉄筋コンクリート3階建一部鉄骨鉄筋コンクリート造・延面積1,998㎡
松原公民館	松島町2丁目	事務室1、研修室2、調理実習室1、ホール1、和室1 鉄筋コンクリート2階建・延面積685㎡
市立図書館視聴覚ライブラリー	東洋町	事務室1、館長室1、一般閲覧コーナー1、小中学生閲覧コーナー1、幼児コーナー1、読書室2、参考室1、会議室2、研修室1、特別資料室1、書庫2、視聴覚コーナー1、視聴覚器材室1 鉄筋コンクリート3階建・延面積3,288㎡
少年愛護センター	東洋町	事務室1、相談室1 延面積128㎡(併用施設)
市立博物館	相生町	事務所2、展示室3、講堂1、地下室2、貴賓室1、収蔵庫3、学芸員室1、作業室1、鉄骨煉瓦造一部鉄筋コンクリート3階建地下1階・延面積1406.183㎡
少年自然の家	野坂	事務室1、食堂1、スタッフルーム1、宿泊室20、和室4、研修室1、談話室1、大浴場1、中浴場1、体育館1、クラフト室1 鉄筋コンクリート2階建・延面積2,500㎡
市民文化センター	桜町	大ホール1、小ホール1、和室1、多目的室1、練習室1、リハーサル室1、楽屋3、事務室1 鉄筋コンクリート4階建地下1階・延面積5,312㎡
プラザ萬象	東洋町	事務室1、応接室1、大ホール1、小ホール1(能舞台含む)、楽屋2、会議室4、和室4、茶室1、団体室12、多目的室1、配膳室1 鉄筋コンクリート地上1階一部2階建・延面積6,627㎡
みなとつるが山車会館	相生町	事務室1、山車展示室1、山車収納庫1、スクリーンシアター1、常設展示室1、ギャラリー1、研修室1、別館展示室1 鉄筋コンクリート3階建・延面積1,537㎡ 別館木造2階建・延面積350㎡ 土蔵造2階建・延面積43㎡

資料：生涯学習課、文化振興課、各施設

## ●市スポーツ施設

(平成28年1月1日現在)

施設名	所在地	施設内容
市立体育館	松葉町	鉄筋コンクリート2階建、観覧席収容人員1,279人、競技場1,462㎡(34×43)、建物面積3,677㎡
東浦体育館	阿曾	鉄骨鉄筋コンクリート平屋建、競技場547.2㎡(28.5×19.2) 建物面積784㎡
市営野球場	松島町	両翼90m、中堅106m、観覧席収容人員8,500人 敷地面積22,078㎡
松原運動場	松島町	敷地面積10,490㎡
栗野スポーツセンター	長谷	体育館 鉄筋コンクリート造・一部鉄骨鉄筋2階建、観覧席192席、競技場1,200㎡(37.5×32)、建物面積2,454㎡ 運動場 敷地面積10,000㎡、夜間照明付(ソフトボール2面)、屋外便所、駐車場
金山体育館	金山	鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造2階建、競技場370㎡(25×14.8) 延床面積850㎡
中郷体育館	羽織町	鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造3階建、競技場1,200㎡(37.5×32) 観覧席85席、駐車場83台、延床面積2,541㎡
中郷スポーツ広場	羽織町	多目的広場6,000㎡、ゲートボール・ソフトボール1面、駐車場21台
きらめきスタジアム	若泉町	敷地面積45,000㎡、ソフトボール球場(学童野球)2面 多目的広場11,340㎡(ソフトボール・学童野球2面・サッカー1面) 管理棟・夜間照明付・駐車場200台
武道館	曙町	鉄筋コンクリート3階建・柔道場、剣道場、空手・拳法室、会議室 建物面積1,858㎡
花城テニスコート	檜川	砂入り人工芝コート6面、管理棟・夜間照明付、敷地面積5,862㎡
花城プール	檜川	25m6コース、水深0.9~1.0m、敷地面積750㎡
愛発プール	足田	25m6コース、水深0.9~1.0m、敷地面積1,699㎡
桜ヶ谷公園プール	筋生野	25m6コース、水深1.0~1.2m、敷地面積731㎡、児童プール
照学明校施設開放	角鹿中 角鹿町	屋外運動場照明施設(軟式野球・ソフトボール)
	気比中 清水町1	屋外運動場照明施設(軟式野球)
	中郷小 岡山町1	屋外運動場照明施設(ソフトボール)
グラウンド・ゴルフ場リラ・グリーン(※)	高野	グラウンド・ゴルフ場8ホール×4コース (※)H28年4月オープン

資料：スポーツ振興課

## ●図書館の状況

(各年度3月31日現在)

年度別	蔵書数	貸出冊数
平成21年度	229,257冊	294,713冊
22年度	233,600冊	316,735冊
23年度	240,536冊	320,230冊
24年度	247,354冊	319,981冊
25年度	252,969冊	318,871冊
26年度	255,742冊	317,779冊

資料：市立図書館

## ●総合運動公園

1.運動施設 (平成28年1月1日現在)

施設名	施設内容
陸上競技場(第2種公認)	トラック…合成ゴムシート(全天候)舗装 フィールド天然芝 1周400m 8コース 収容人員…11,000人
野球場	両翼97m 中堅122m 収容人員…15,000人
テニスコート	全天候型、センターコート1カ所 2面 一般コート3カ所 6面、ウォールテニスコート1カ所
体育館	○第1競技場(38m×52m) ○第2競技場(32m×19m) ○研修室(1面鏡張り) ○幼児体育室
ゲートボール場	○屋内コート2面(サンドフィルタイプ人工芝) ○屋外コート8面(クレイ舗装)
弓道場	○近的射場(射距離28m)10人立 ○遠的射場(射距離60m)6人立
プール	○屋内プール(温水)25m 8コース ○屋外プール50m 9コース ○トレーニングルーム、体力測定室

## 2.レクリエーション施設

施設名	施設内容
多目的広場	135m×86m
ちびっ子広場	施設面積12,800㎡、大型複合遊具3基 ザイルクライミング、砂場、休憩所3カ所 便所1カ所
ちびっ子ゲレンデ	人工芝ゲレンデ8m×50m及び6m×30m 四阿1基、シェルター1基
ローラーすべり台	総延長425m(7コース)水香場 からくり2カ所、シェルター2、ベンチ11カ所他

## 3.修景池

施設名	施設内容
芝生広場	八ツ橋、浮見堂、太鼓橋、花植栽(ショウブ、カキツバタ)

資料：総合運動公園

## 文化財

### ◎国指定文化財 18件

（平成28年1月1日現在）

種別	区分	名称及び員数	所在地	指定年月日
国宝	工芸品	朝鮮鐘 1口	常宮	昭27.11.23
重要文化財	絵画	絹本着色 主夜神像 1幅	原	明33. 4. 7
〃	〃	〃観経变相曼荼羅図 1幅	〃	明33. 4. 7
〃	〃	〃阿弥陀如来像 1幅	〃	明34. 8. 2
〃	建造物	気比神宮大鳥居 1基	曙町	明34. 3.27
〃	〃	西福寺御影堂 阿弥陀堂 書院及び庫裏 各1棟	原	平20. 6. 9
〃	書跡	西福寺一切経観進経 25巻	原	大 3. 4.17
〃	〃	紙本墨書 般若心経 1巻	〃	大 3. 4.17
〃	典籍	奥の細道(素龍書写奥書)附 細道伝来記 各1冊	新道	昭47. 5.30
〃	工芸品	孔雀鍍金経箱 1合	原	平 5. 1.20
重要無形民俗文化財		敦賀西町の綱引き	相生町	昭61. 1.14
記念物	史跡	金ヶ崎城跡	金ヶ崎町	昭 9. 3.13
〃	〃	武田耕雲斎等墓	松島町2丁目	昭 9.12.28
〃	〃	中郷古墳群	吉河・坂下	昭63. 3.23
〃	〃	玄蕃尾城(内中尾山城)跡	刀根・滋賀県長浜市	平11. 7.13
〃	名勝	気比の松原	松島・櫛川	昭 3. 6.28
〃	〃	西福寺書院庭園	原	昭 7. 4.19
〃	〃	柴田氏庭園	市野々町1丁目	昭 7. 4.19(追)平19.7.26
( 〃 )	(特別天然記念物カモシカ)		(敦賀市全域)	(昭30.2.15)

資料：文化振興課

### ◎市指定文化財 144件

#### ○有形文化財99件

（平成28年1月1日現在）

#### 建造物

名称	員数	所在地	指定年月日
天満神社本殿・石之間・拜殿	1棟	栄新町	昭61. 2.26
沓見宝塔（石造）	1基	沓見	平 8. 6.11
小刀根トンネル	1基	刀根	平 8. 6.11
西福寺境内建物	5棟	原	平10. 1.13
永賞寺九重塔（石造九重塔）	1基	栄新町	平13.10.10

#### 絵画

名称	員数	所在地	指定年月日
壁画著色 観音像 図	1面	松島町2丁目	昭29. 5.20
絹本墨画 風竹 図	1幅	原	昭29. 6.17
絹本着色 阿弥陀来迎 図	1幅	栄新町	昭31. 4. 1
絹本着色 十六羅漢 図(額装)	15枚	松島町	昭33. 3.28
絹本着色 仏涅槃 図	1幅	松島町	昭33. 3.28
絹本着色 仏涅槃 図	1幅	原	昭34.10. 5
絹本着色 観経曼荼羅 図(正宗分)	1幅	原	昭34.10. 5
紙本着色 鏡引 図 六曲屏風 内海元紀筆	1隻	三島町1丁目	昭38. 7.15
紙本着色 架鷹 図 六曲屏風 二代橋本長兵衛筆	1双	三島町1丁目	昭38. 7.15
紙本着色 桃園三傑 図 桃山水 図 横今村公龍筆	4面 4面	三島町1丁目	昭38. 7.15
紙本着色 架鷹 図 六曲屏風 板絵著色 神功皇后三韓出馬 征 図 絵 内海元孝筆	1枚	山	昭40. 7. 5
紙本着色 楓 downstream 六曲屏風 内海吉堂筆	1双	相生町	昭42. 8. 9
絹本着色 阿弥陀二十五菩薩 来迎 図(額装)	1枚	原	昭59. 3. 1
紙本着色 竹虎 図 襖	8面	原	昭59. 3. 1(追)平18.4.12
紙本淡彩 松鶴 図 襖	4面	原	昭59. 3. 1

#### 絵画

名称	員数	所在地	指定年月日
紙本墨画 山水 図 襖	4面	原	昭59. 3. 1
紙本着色 商山四皓 図 襖	8面 貼付1面	原	昭59. 3. 1
紙本着色 架鷹 図 六曲屏風 初代橋本長兵衛筆	1隻	三島町1丁目	昭59. 3. 1
紙本着色 不動明王 図 一宮長常筆	1幅	相生町	昭59. 3. 1
紙本着色 花卉 図 襖 曲水 図 襖 内海元孝筆	5面 5面	相生町	昭61. 2.26
紙本墨画 仙人 図	6幅	相生町	昭61. 2.26(追)62.4.9
紙本墨画 枯木に鷹 図	1幅	相生町	昭61. 2.26
紙本着色 二代橋本長兵衛筆	1幅	相生町	昭61. 2.26
紙本着色 一宮長常画像 勝山球眼筆	1幅	相生町	平元. 3.10
絹本着色 観音・地藏像	1幅	原	平 2. 3.12
絹本墨画 十一面観音像	1幅	原	平 2. 3.12
紙本着色 架鷹 図 六曲屏風 初代橋本長兵衛筆	1双	相生町	平14. 7.10

### 彫刻

名称	員数	所在地	指定年月日
木彫猿田彦面(天文十年紀久次の墨書)	1面	曙町(相生町)	昭29. 4.25
木造 聖観世音菩薩坐像	1軀	鑄物師町	昭29.12.21
木造 聖観世音菩薩立像	1軀	山泉	昭31. 4. 1
能面尉(銘イセキ)	1面	曙町(相生町)	昭31. 4. 1
木造 十八羅漢坐像	18軀	松島町	昭33. 3.28

### ◎県指定文化財28件

（平成28年1月1日現在）

種別	区分	名称及び員数	所在地	指定年月日
有形文化財	工芸品	日本刀外装 1口	三島町1丁目	昭31. 3.12
〃	〃	八十一難経版木 6枚	原	昭40. 5.18
〃	〃	木製加飾腰高障子 12枚	松島町2丁目	平 6. 5.20
〃	〃	銅鑄口正平丁酉年銘 1口	色浜(相生町)	平26. 3.28
〃	彫刻	木造釈迦如来坐像 1軀	刀根	昭55. 3.11
〃	〃	木造不動明王立像 1軀	御名	平18. 4.25
〃	〃	木造昆沙門天立像 1軀	御名	平18. 4.25
〃	絵画	絹本着色観経曼荼羅 図(序文) 1幅	原	昭55. 3.11
〃	〃	紫絹金銀泥絵阿弥陀八大菩薩像 1幅	神楽町1丁目	平12. 3.21
〃	建造物	常宮神社本殿・拜所・中門 3棟	常宮	昭57. 4.23(追)平21.3.24
〃	〃	高德寺本堂 1棟	神楽町2丁目	昭57. 4.23
〃	〃	旧大和田銀行本店 1棟 附 株式会社大和田銀行本店 新築工事設計図等 24点	相生町	平22. 4. 9
〃	古文書	西福寺文書 1269点	原	平17. 5. 6
〃	考古資料	深山寺経塚出土品 101点	結城町	平24. 3.23
民俗文化財	有形民俗文化財	色浜の産小屋 1棟	色浜	昭50. 6. 3
〃	無形民俗文化財	太鼓踊り(諏訪神社)	池河内	昭28. 3.19
〃	〃	赤崎獅子舞(八幡神社)	赤崎	昭37. 5.15
〃	〃	相撲甚句(利稼八幡神社)	阿曾	昭40. 5.18
〃	〃	八幡神社の彼岸祭	関	昭37. 5.15
〃	〃	野坂だのせ祭り	野坂	平 6. 5.20
〃	〃	沓見御田植祭	沓見	平20. 2.22
記念物	史跡	穴地藏古墳	櫛川	昭53.10.11
〃	〃	立洞古墳(2号墳)	井川	昭54. 2. 6
〃	〃	疋壇城跡	疋田	昭29.12. 3
〃	〃	洲崎の高燈籠 1基	川崎町	平 4. 5. 1
〃	天然記念物	休岩寺のソテツ 7株	大比田	昭29.12. 3
〃	〃	獺ノ河内のカツラ 1株	獺河内	昭39. 6. 5
〃	〃	明神崎の自生モクゲンジ 1群	明神崎東海岸	平 9. 4.25

資料：文化振興課

### 彫刻

名称	員数	所在地	指定年月日
木造 十一面観世音菩薩立像	1軀	大蔵	昭52.2.24
木造 地藏菩薩坐像	1軀	刀根	昭52.2.24
木造 持国天立像	1軀	刀根	昭52.2.24
木造 毘沙門天立像	1軀	刀根	昭52.2.24
楓樹に雉子 図・欄間 高村光雲作	一對	相生町	昭57.12.14

## 工芸品

名称	員数	所在地	指定年月日
梵鐘(時鐘・寛文五年紀)	1口	金ヶ崎町	昭33. 3.28
脇差 肥前国住宗次作 同拵岩本昆寛作総金具	1口 1口	杉津	昭33.3.28
赤胴七々子地 総金具 太刀拵	1口	蓬萊町(相生町)	昭33. 3.28
獅子・人物文織壁掛 剣 越前敦賀住 藤原宗吉作(正保三年紀)	1枚	松島町	昭33. 3.28
人物 図 三所物(縁頭・目貫・小柄) 一宮長常作	1口	三島町1丁目	昭38. 7.15
黒呂色塗鞘脇差拵 縁頭 一宮長常作 拵 吉岡因幡介作	1口 12客分	角鹿町(相生町)	昭38. 7.15
黒漆内朱漆塗蒔絵 膳(柿谷半月和歌・草花 図)	1揃	角鹿町(相生町)	昭38. 7.15
短刀 越州敦賀光行作(嘉慶二年紀)	1口	角鹿町(相生町)	昭40. 7. 5
寒山鉄拐 図 鐔 一宮長常作	1枚	三島町1丁目	昭48. 4.16
剣 二代・越前康継作(寛永二十年紀)	1口	相生町	昭61. 2.26
薙刀 敦賀住下総守 藤原宗吉作	1口	堂	昭62. 7.20
太刀 越州敦賀住盛重作	1口	相生町	平 2. 3.12

### 書跡

名称	員数	所在地	指定年月日
紙本墨書 般若心経	1巻	三島町1丁目	昭33. 3.28
紙本墨書 長歌 山田正秋書	1幅	三島町1丁目	昭40. 7. 5
紙本墨書 大般若経第二百七十一(仁治二年五月廿二日 沙門良俊書写奥書)	1巻	相生町	昭59. 3. 1
紙本墨書 松尾芭蕉色ヶ浜遊記 神戸等裁書	1幅	色浜	平元. 3.10

### 古文書

名称	員数	所在地	指定年月日
泰古文書(正安三年から寛長二年まで)	37通	手	昭29.12.21(追)62.4.9
刀根古文書(文明元年から寛文二年まで)	116通	江良	昭31. 4. 1(追)33.3.28(追)62.4.9
永建寺古文書(徳治三年から天文十年まで)	15通	松島町	昭33. 3.28(追)62.4.9
善妙寺古文書(寛慶二年から元龜四年まで)	29通	神楽町1丁目	昭34.10. 5
敦賀馬借座役用記等諸記録	15冊	三島町1丁目	昭48. 4.16
敦賀酒屋仲間文書(天和元年から明治十年まで)	85点	相生町	平13. 7.18

### 考古資料

名称	員数	所在地	指定年月日
向出山古墳出土品	一括	三島町1丁目	昭34.10. 5
深山寺経塚出土品	2点	三島町1丁目	昭34.10. 5
金ヶ崎経塚出土品	3点	金ヶ崎町	昭34.10. 5

### 歴史資料

名称	員数	所在地	指定年月日
紙本着色 気比神宮古 図	1幅	曙町(相生町)	昭29. 4.25
脇差(武田耕雲斎所用)	1口	松原町(相生町)	昭29. 4.25
短刀(源流千本槍・武田耕雲斎所用)	1口	松原町(相生町)	昭29. 4.25
紙本着色 西福寺古 図	1幅	原	昭29. 6.17
竹杖(松尾芭蕉所用)	1本	本町2丁目	昭29.12.21
旧鞠山藩領巨細書	5冊	三島町1丁目	昭33. 3.28
紙本墨書 大日本史上表副本	1通	三島町1丁目	昭33. 3.28
唐仁橋山車	1基	相生町	昭36. 3.20
紙本墨画 門ヶ崎 図 内海元孝筆	1幅	三島町1丁目	昭38. 7.15
紙本墨書 俳句・和歌懐紙 日能書	1幅	三島町1丁目	昭38. 7.15
紙本墨画 燕 図 画 賛 島計富筆	1幅	三島町1丁目	昭38. 7.15

### 年中行事

行事	月日	ところ
敦賀西町の綱引き	1月第3日曜日	相生町
でんがらがん	2月1日	常福寺(沓)
野坂だのせ祭り	2月	野坂神社(野坂)
毘沙講	2月～3月	白山神社(高野)
初午祭り	2月～3月	稲荷神社(山)
花換まつり	4月上旬	金崎宮
気比神社の春祭り	4月第1日曜日	気比神社(刀根)
白銀神社の火祭り	5月上旬	白銀神社
沓見御田植祭	5月5日	信露賢彦神社・久豆弥神社(沓見)
御田植祭	6月15日	気比神宮
大岩大権現祭	6月15日に近い日曜日	疋田
海水浴場海開き	7月	松原海水浴場他

### 歴史資料

名称	員数	所在地	指定年月日
版画 紙漉 図 内海元孝画	1幅	三島町1丁目	昭38. 7.15
大名等沐浴札及び加賀藩宿陣札 板絵著色	12枚	三島町1丁目	昭38. 7.15
大江山酒吞童子図絵馬 鳴海鶴陰筆	1枚	三島町1丁目	昭40. 7. 5
紙本墨書 船中控心得書	1巻	三島町1丁目	昭40. 7. 5
定広院墓地の石仏 板絵著色	33軀	疋田	昭42. 8. 9
北前船 図 絵馬(文化元年紀)	1枚	三島町1丁目	昭42. 8. 9
紙本着色 敦賀町 図	1葉	三島町1丁目	昭42. 8. 9
紙本着色 敦賀県管内町 図	17葉	三島町1丁目	昭42. 8. 9
敦賀西小学校沿革誌	44冊	結城町	昭42. 8. 9
紙本墨書 敦賀幸若屋敷 図	1幅	三島町2丁目	昭46.12.20
陣羽織及び軍扇(武田耕雲斎所用)	2点	松原町(相生町)	昭46.12.20
金ヶ辻子山車	1基	相生町	昭46.12.20
紙本墨画 野菜 図 一宮長常筆	2枚	三島町1丁目	昭48.4.16
紙本着色 人物花鳥 図 画 帳 橋本守忠筆	1冊	三島町1丁目	昭48. 4.16
紙本着色 武田耕雲斎画像 須木直正筆	1幅	松原町(相生町)	昭48. 4.16
御所辻子山車	1基	元町(相生町)	昭55. 8.15
版本 敦賀名勝詩 清化堂道碩著(元禄五年版)	1冊	相生町	昭59. 3. 1
紙本着色 敦賀津 図 内海元紀筆	1幅	相生町	昭62. 7.20

### 典籍

名称	員数	所在地	指定年月日
敦賀志	4冊	三島町1丁目	昭33. 3.28
石塚資元著 氣比宮社記 平松周家著	9冊	相生町	平20.11.14

### ○民俗文化財4件

名称	所在地	指定年月日
松島さし踊り	松島町	昭55.11.15
すてな踊り	敦賀市	昭59. 3. 1
気比神社の春祭り・秋祭り	刀根	平10. 1.13
初午祭り	山	平10. 3.11

### ◎登録文化財4件 登録有形文化財

（平成28年1月1日現在）

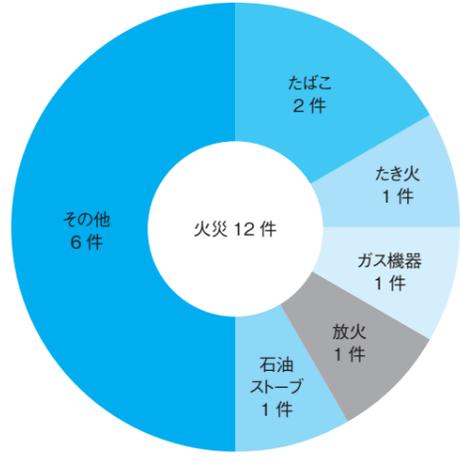
区分	名称	員数	所在地	登録年月日
建造物	旧紐育スタンダード石油会社倉庫 北棟	1棟	金ヶ崎町	平21. 1. 8
〃	旧紐育スタンダード石油会社倉庫 南棟	1棟	金ヶ崎町	平21. 1. 8
〃	旧紐育スタンダード石油会社倉庫 煉瓦塙	1基	金ヶ崎町	平21. 1. 8
〃	旧敦賀倉庫株式会社 新港第一号・第二号・第三号倉庫	1棟	蓬萊町	平26. 4.25

資料：文化振興課

（平成28年1月1日現在）

行事	月日	ところ
総参	7月22日	気比神宮・常宮神社
とうろう流しと大花火大会	8月16日	松原海岸
気比神宮例祭・敦賀祭り	9月2日～15日	気比神宮ほか
相撲甚句	敬老の日前日の日曜日	利稼八幡神社(阿曾)
赤崎獅子舞	敬老の日前日の日曜日	八幡神社(赤崎)
松原神社例大祭	10月10日	松原神社
御船遊管絃祭	10月20日	金崎宮・敦賀港
せんべい焼き	11月20日	天満神社(栄新町)
みやあげ神事	12月第1日曜日	気比神社(刀根)
霜月祭り	12月上旬	

## ●平成27年原因別火災件数 (敦賀市)



資料：敦賀美方消防組合

## ●消防関係者数

(平成27年4月1日現在)

消防署員数	消防団員数
153人	746 [26] (280 [10])人

( )内は敦賀市 [ ]内は女性消防団員 資料：敦賀美方消防組合

## ●公設消防水利・消火栓数 (敦賀市)

(平成27年4月1日現在)

消火栓	防火水槽	井戸
1,703	163	54

資料：敦賀美方消防組合

## ●通信施設等

(平成27年4月1日現在)

種別	119番回線(携帯・FAX等含む)	職員緊急メール装置	一般加入電話回線(FAX回線含む)	携帯電話回線(衛星携帯電話含む)	専用電話回線(警察発着所等含む)	指令専用回線	署所端末装置	指令電送装置	出動車両運用管理装置	画像伝送装置	防災情報システム(トポメール)	音声告知放送システム	CATV防災放送	消防用非常サイレン装置	消防無線基地、移動携帯局含む	県防災情報ネットワーク	県広域災害救急医療情報システム	防災気象情報システム	緊急情報ネットワークシステム(エネット)	全国瞬時警報システム(J-ALERT)
数	16(1)	1(1)	14(10)	21(15)	6(1)	4(2)	4(2)	5(2)	19(13)	1(1)	1(1)	2(0)	2(1)	2(2)	102(68)	1(1)	1(1)	1(1)	6(3)	3(1)

( )内は敦賀市 資料：敦賀美方消防組合

## ●消防用機械

(平成27年4月1日現在)

区分	普通ポンプ車	水槽付ポンプ車	小型動力ポンプ付水槽車	化学消防自動車	救急車	はしご付消防自動車	救急車	指令車	小型動力ポンプ付積載車	小型動力ポンプ	その他
敦賀消防署	2	2	1	1	2	2	4	3	—	3	10
敦賀消防団	14	—	—	—	—	—	—	—	7	1	—

資料：敦賀美方消防組合

## ●火災の状況 (敦賀市)

(各年12月31日現在)

年別	火災件数			り災世帯数	り災人員	焼損棟数	建物焼損面積	死者	負傷者	損害額
	総数	建物	野外							
平成23年	16	10	6	14世帯	29人	17棟	681㎡	1人	5人	24,203千円
24年	8	7	1	4	10	8	144	0	0	6,003
25年	15	7	8	5	9	8	18	0	1	1,832
26年	25	13	12	12	31	13	621	2	3	10,874
27年	12	7	5	4	8	7	184	0	1	31,320

資料：敦賀美方消防組合

## ●救急出動 (敦賀市)

(各年12月31日現在)

年別	総数	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
平成23年	2,430	7	—	4	249	22	16	327	10	27	1,516	252
24年	2,513	1	3	11	187	26	17	343	11	27	1,628	259
25年	2,545	12	—	6	214	32	20	366	11	42	1,562	280
26年	2,535	11	—	7	227	15	22	348	6	19	1,539	341
27年	2,712	7	—	11	208	19	23	352	6	18	1,675	393

資料：敦賀美方消防組合

## ●救助出動 (敦賀市)

(各年12月31日現在)

年別	総数	火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械事故	建物等による事故	その他
平成23年	46	17	22	3	—	2	—	2
24年	25	6	8	5	—	—	1	5
25年	32	12	10	2	1	—	—	7
26年	50	14	23	5	—	2	—	6
27年	69	12	33	10	—	2	—	12

資料：敦賀美方消防組合

## ●交通事故

(各年12月31日現在)

年別	総事故件数	人身事故件数	死者数	負傷者数	物損事故件数
平成23年	2,052	222	11	290	1,830
24年	1,935	203	5	243	1,732
25年	2,026	190	5	222	1,836
26年	1,836	165	8	199	1,671
27年	1,833	175	3	214	1,658

資料：生活安全課

## ●市の施設

### 〈市庁舎・関連施設〉

名称	所在地	電話
敦賀市役所	中央町2丁目1-1	21-1111
敦賀美方消防組合消防本部	中央町2丁目1-2	20-0119
市立敦賀病院	三島町1丁目6-60	22-3611
健康管理センター	中央町2丁目16-52	25-5311
休日急患センター	中央町2丁目16-52	25-5311
敦賀市立看護大学	木崎78-2-1	20-5500
市立看護専門学校	木崎78-2-1	22-7771
国民健康保険正田診療所	正田11-9-1	27-1106
国民健康保険東浦診療所	大比田34-16-1	28-1440
男女共同参画センター	三島町2丁目1-6	23-5411
きらめきみなと館	桜町1-1	20-1100
敦賀きらめき温泉リ・ポート	高野91-9-3	24-1126
敦賀赤レンガ倉庫	金ヶ崎町4-1	47-6612
人道の港 敦賀ムゼウム	金ヶ崎町44-1(金ヶ崎緑地内)	37-1035
敦賀鉄道資料館	港町1-25	21-0056
敦賀駅交流施設 オルパーク	鉄輪町1丁目1-19	20-0689
学校給食センター	野神12-16	22-0410
児童文化センター	榑川42-2-1	25-7879
児童センター	榑川42-2-1	25-7879
子育て総合支援センター	本町2丁目5-20	22-0147
粟野子育て支援センター	新和町1丁目3-10	25-5647
公設地方卸売市場	古田刈66-1303-1	24-1522
天筒浄化センター	天筒町5-9	24-0411
昭和浄水場	野神12-1	22-2279
清掃センター	榑川88-1-2	21-1153
衛生処理場	昭和町1丁目4-19	25-1888
敦賀斎苑	金山3-1-1	22-5257
中池見人と自然のふれあいの里	榑曲79号奥堀切	20-1110
黒河農村ふれあい会館	山43-42	21-3445
農産物直売所	砂流24-45	21-1571

### 〈社会教育〉

名称	所在地	電話
生涯学習センター	東洋町1-1	25-8318
東浦公民館	五幡32-8-1	28-1251
北公民館	曙町11-91	24-1545
南公民館	本町2丁目1-20	22-2866
西公民館	三島町2丁目19-8	21-2700
東郷公民館(東郷コミュニティセンター)	井川33-12	22-0895
中郷公民館	羽織町36-1	22-0192
愛発公民館	正田37-1	27-1101
粟野公民館	御名53-19	22-0902
松原公民館	松島町2丁目9-19	23-8990
図書館(視聴覚ライブラリー)	東洋町2-1	22-1868
プラザ萬象	東洋町1-1	22-9711
少年自然の家	野坂80-15	24-0052
少年愛護センター	東洋町1-1	23-0189
市民文化センター	桜町7-1	25-5125
市立博物館	相生町7-8	25-7033
みなとつるが山車会館	相生町7-6	21-5570
ハートフル・スクール	鑄物師町12-32	22-7072

## ●その他の施設

名称	所在地	電話
敦賀商工会議所	神楽町2丁目1-4	22-2611
中日本高速鉄道支社敦賀安全・サービスセンター	井川17-8-1	25-5223
敦賀市社会福祉協議会	東洋町4-1	22-3133
(公社)敦賀市シルバー人材センター	金山78-9(市野々町1丁目)	24-1250
(財)福井原子力センター	吉河37-1	23-1710
(一社)敦賀観光協会	本町2丁目1-20(南公民館3F)	22-8167

### 〈福祉〉

名称	所在地	電話
市民福祉会館	高野54-4-4	25-4933
やまびこ園	長谷47-21	21-1133
子ども発達支援センター	榑川41-2-3	22-7172
福祉総合センター	東洋町4-1	22-1700

### 〈スポーツ〉

名称	所在地	電話
総合運動公園	沓見149-1	23-6638
市立体育館	松葉町1-2	22-5244
東浦体育館	阿曾77-12	28-1001
金山体育館	金山58	21-1130
中郷体育館	羽織町34(坂下)	21-2060
市営野球場	松島町30-1	22-4577
花城テニスコート	榑川39-3	24-2379
粟野スポーツセンター	長谷47-54	21-1710
武道館	曙町11-80	25-5820
男女共同参画センター体育館	三島町2丁目1-6	23-5411
きらめきスタジアム	若泉町9-3	21-0066
敦賀市グラウンド・ゴルフ場リラ・グリーン(※)	高野91-9-3	24-1126

(※) H28年4月オープン

## ●県の施設

名称	所在地	電話
嶺南振興局二州県民サービス室	中央町1丁目7-42	22-0002
嶺南振興局二州県税相談室	中央町1丁目7-42	22-0050
嶺南振興局二州農林部	中央町1丁目7-42	22-5027
嶺南教育事務所敦賀駐在	中央町1丁目7-42	24-0421
交通事故相談所敦賀相談所	中央町1丁目7-42	22-5312
嶺南振興局敦賀土木事務所	中央町1丁目7-36	22-5448
嶺南振興局敦賀港湾事務所	桜町2-1	22-0369
嶺南振興局二州健康福祉センター	開町6-5	22-3747
嶺南振興局敦賀児童相談所	角鹿町1-32	22-0858
敦賀産業技術専門学院	道口19-2-1	22-0143
水産試験場	浦底23-1	26-1331
原子力環境監視センター	吉河37-1	25-6110
敦賀警察署	木崎12-18-1	25-0110

## ●国の施設

名称	所在地	電話
福井地方検察庁敦賀支部	松栄町7-28	22-0062
福井地方検察庁敦賀支局	松栄町7-28	25-0174
文部科学省敦賀原子力事務所	松栄町7-28	23-1610
北陸農政局福井地域センター敦賀支所	松栄町7-28	23-5700
福井地方裁判所敦賀支部	松栄町6-10	22-0812
福井家庭裁判所敦賀支部	松栄町6-10	22-0812
敦賀簡易裁判所	松栄町6-10	22-0812
大阪税関敦賀税関支署	港町7-15	22-0025
中部運輸局福井運輸支局	港町7-15	22-0003
敦賀海上保安部	港町7-15	22-0191
敦賀税務署	鉄輪町1丁目7-3	22-1010
敦賀公共職業安定所	鉄輪町1丁目7-3	22-4220
敦賀労働基準監督署	鉄輪町1丁目7-3	22-0745
名古屋植物防疫所伏木富山支所敦賀出張所	港町7-15	22-1060
福井森林管理署松原森林事務所	松島町28-34	25-0210
近畿地方整備局敦賀国道維持出張所	開町3-28-1	22-5166
北陸地方整備局敦賀港湾事務所	松栄町2-43	22-2590

名称	所在地	電話
(公財)若狭湾エネルギー研究センター	長谷64-52-1	24-2300
独立行政法人国立病院機構 敦賀医療センター	桜ヶ丘町33-1	25-1600
港都つるが(株)	神楽町2丁目1-4	20-0015
敦賀郵便局	元町11-5	25-1002
日本年金機構敦賀年金事務所	東洋町5-54	23-9900

年代(西暦)	事 項
崇徳65年(前33)	朝鮮任那国の王子、都怒我阿羅斯等が来朝した。
成務5年(135) 9月	角鹿国造を定める。またこの頃、角鹿海直が配置された。
仲哀2年(193) 2月	角鹿に行幸あり行宮を興し筒飯宮という。神功皇后は角鹿を發し穴門へ向かわれた。
大宝2年(702) 8月	氣比神宮に仲哀天皇、神功皇后を合祀した。
和銅6年(713) 5月	角鹿の文字を敦賀と改めた。
天平3年(731)	越前国正税帳に敦賀郡が初めて見える。
延暦23年(804) 6月	この頃、渤海国の使節、相次いで来貢したので松原客館が創置。
延元元年(1336) 10月	後醍醐天皇の皇子、恒良・尊良両親王を奉じて新田義貞が金ヶ崎城にたてこもる。(翌年落城した)
正平23年(1368) 8月	良如、西福寺を建立した。
文安2年(1445) 3月	西福寺に勅願所の宣旨を賜わる。
元龜元年(1570) 4月	織田信長が天筒山城を陥れ、翌日金ヶ崎城を開城した。
天正元年(1573) 8月	朝倉勢は刀根坂で敗れ、足壇城、金ヶ崎城が落ち、義景は大野で自害し、信長は武藤舜秀を敦賀郡代官とした。
◇ 3年(1575) 8月	織田信長が敦賀に入る。翌日、羽柴秀吉・柴田勝家が杉津口に一揆を破った。
◇ 17年(1589)	羽柴秀吉は大谷吉継を敦賀城主に任じた。
寛永元年(1624) 3月	敦賀郡は一時光領となり、島田右京亮が代官となった。
◇ 11年(1634) 7月	酒井忠勝が小浜城主に任ぜられ、若狭敦賀郡・近江国高島郡を支配。
◇ 16年(1639)	このころ西廻り航路が開かれ、入津する荷物は激減した。
正保2年(1645) 7月	氣比神宮の大鳥居を建立した。
元禄2年(1689) 8月	松尾芭蕉来敦、16日色ヶ浜に遊ぶ。
享保3年(1718) 12月	町火消しの制を定める。
宝暦6年(1756) 2月	全国人口調査。
明和7年(1770) 6月	大干ばつ、大凶作、近郷48ヶ村民が蜂起、敦賀役所に迫った。
文政10年(1827)	敦賀米会所を金辻子に置いた。
天保8年(1837) 3月	幸浜町から出火670軒焼失した。
嘉永6年(1853)	150日程雨が降らず、大干ばつとなる。
文久3年(1863)	茶町海岸の砲台場完成、異国船の襲来に備えた。
元氏2年(1865) 2月	武田伊賀守らが、刑場の霧と消えた。
明治4年(1871) 7月	藩を廃止し、敦賀県を置く。
◇ 5年(1872) 10月	就将小学校を創置する。学校の初めて明治末の小学校は19校に達した。
◇ 9年(1876) 8月	敦賀県を廃し、滋賀県に属した。
◇ 11年(1878) 9月	電信が開始された。
◇ 12年(1879) 5月	郡役所を置き郡長を任命した。
◇ 14年(1881) 2月	福井県が置かれ、敦賀は福井県の管轄に入った。
◇ 14年(1881) 7月	立石岬に灯台を設置し、20日から点灯した。
◇ 15年(1882) 3月	敦賀・金ヶ崎の両停車場が設置された。
◇ 17年(1884) 4月	敦賀～長浜間の鉄道が開通した。
◇ 19年(1886)	萬象閣を建設し、公会堂とした。(敷地は敦賀県当時の区会所の地)
◇ 20年(1887) 5月	小学校が初めて松原で運動会をした。
◇ 21年(1888)	敦賀商工会が発足した。
◇ 22年(1889) 4月	町村制実施。泉・津内・三島の3村を敦賀町に統合した。
◇ 24年(1891) 5月	ウラジオストクでシベリア鉄道起工式を挙行政した。
◇ 26年(1893) 5月	金崎宮鎮座式が挙行政され、勅使参向。
◇ 28年(1895) 1月	氣比神社官幣大社に昇格。(3月26日に神社を神宮に改称)
◇ 29年(1896) 7月	敦賀～森田(福井)間に鉄道が開通する。
◇ 29年(1896) 10月	敦賀港、開港外貿易港に指定される。
◇ 29年(1896) 11月	税関出張所開庁、敦賀税務署を置く。
◇ 32年(1899) 7月	開港指定、翌年汽船武揚丸、牛莊から大豆、豆かすを初めて直輸入。
◇ 34年(1901) 4月	高等学校1校、尋常小学校2校設置、商業補習学校も設けられた。
◇ 35年(1902) 2月	日本海命令航路が開設された。
◇ 39年(1906) 6月	町立商業学校が開校。
◇ 39年(1906) 7月	ロシアの東亞汽船が敦賀～ウラジオストク直通航路を開設し、1日初入港した。
◇ 40年(1907) 3月	電灯がついた。
◇ 42年(1909) 4月	市内電話が開設。
◇ 45年(1912) 6月	金ヶ崎へ寝台列車が運転開始した。
大正6年(1917) 6月	小浜線の敦賀～十村間開通。
◇ 7年(1918) 7月	敦賀～清津間を政府命令航路として開始。
◇ 9年(1920) 6月	敦賀鉄道棧橋を設置した。
◇ 9年(1920) 10月	第1回回勢調査(人口約38,380人)
◇ 14年(1925)	この年からラジオが聴取され、年々増進していった。
◇ 15年(1926)	ソ連領事館開庁。
◇ 15年(1926)	郡制廃止。
昭和3年(1928)	松原を「氣比の松原」と称し、国の名勝に指定された。
◇ 7年(1932)	松岡正典全権が欧州旅行のため敦賀港を出発。

年代(西暦)	事 項
昭和8年(1933)	大和田莊七翁が町庁舎を新築寄贈した。
◇ 9年(1934) 12月	東洋紡績(株)敦賀工場操業開始。
◇ 12年(1937) 2月	敦賀セメント(株)敦賀工場操業開始。
◇ 12年(1937) 4月	敦賀町、松原村を廃し敦賀市が誕生、臨時市長代理者森本一雄氏。
◇ 12年(1937) 6月	森本一雄氏が初代市長に就任。
◇ 13年(1938) 12月	若林義孝氏が第2代市長に就任。
◇ 14年(1939) 10月	じん芥焼却炉竣工。
◇ 15年(1940) 4月	県立敦賀中学校開校。
◇ 16年(1941) 4月	末原貴一郎氏が第3代市長に就任。
◇ 17年(1942) 10月	市立図書館開館。
◇ 18年(1943) 12月	湯山火葬場完成。
◇ 19年(1944) 4月	敦賀市の農業会が発足。
◇ 20年(1945) 4月	田保仁左衛門氏が第4代市長に就任。
◇ 20年(1945) 7月	空襲により市内中心部2/3以上を焼失。
◇ 21年(1946) 9月	敦賀商工会議所が再発足。
◇ 22年(1947) 4月	川原興作氏が第5代市長に就任。
◇ 22年(1947) 7月	市内バス(敦賀～松原)が開通。
◇ 23年(1948) 4月	県立敦賀高等学校(新制)創立。 敦賀～北海道定期航路が開設され、花咲丸が就航。 不二越鉱業(株)敦賀工場が操業開始。
◇ 24年(1949) 6月	開港50周年記念行事として「海の祭典」を催す。
◇ 24年(1949) 7月	敦賀港が重要港湾に指定される。
◇ 26年(1951) 1月	川原興作氏が第6代市長に就任。
◇ 27年(1952) 4月	日本ビーエスコンクリート(株)操業開始。
◇ 27年(1952) 5月	市制施行15周年記念式を行う。
◇ 28年(1953) 11月	漁港船だまり工事竣工。
◇ 30年(1955) 1月	近隣5ヶ村を編入合併し、新市が誕生。
◇ 30年(1955) 4月	畑守三四治氏が第7代市長に就任。
◇ 31年(1956) 4月	旧市内132町内を46町に整理統合。
◇ 32年(1957) 10月	敦賀～米原間の新線と交流電化開通。
◇ 33年(1958) 6月	日本～ナホトカ定期航路寄港地に指定。
◇ 33年(1958) 10月	全市に国民健康保険を実施。
◇ 34年(1959) 4月	畑守三四治氏が第8代市長に就任。
◇ 36年(1961) 1月	呉羽紡績(株)ナイロン工場の誘致を決定。
◇ 36年(1961) 2月	文化会館が完成。
◇ 36年(1961) 7月	衛生処理場完成。
◇ 37年(1962) 2月	国鉄との間に温泉利用権の契約締結。
◇ 37年(1962) 4月	県立敦賀工業高等学校開校。
◇ 37年(1962) 6月	北陸トンネル(13.87km)が完成。(敦賀～福井間が電化開通)
◇ 37年(1962) 7月	敦賀有料道路開通。
◇ 37年(1962) 10月	東洋紡績(株)ポリプロピレン工場誘致決定。
◇ 37年(1962) 11月	敦賀半島に原子力発電所の建設予定地決定。 敦賀半島が若狭湾国定公園に編入される。
◇ 38年(1963) 1月	未曾有の豪雪(積雪154cm)のため、市に雪害対策本部を設置。
◇ 38年(1963) 3月	市立敦賀病院改築工事竣工。
◇ 38年(1963) 4月	畑守三四治氏が第9代市長に就任。
◇ 38年(1963) 6月	永大産業(株)敦賀工場の誘致を決定。
◇ 38年(1963) 9月	1万トン岸壁改修完成。
◇ 39年(1964) 1月	温泉の名称を「敦賀トンネル温泉」と命名。
◇ 39年(1964) 4月	市内6農協が合併。
◇ 39年(1964) 5月	柳ヶ瀬線が80年の歴史を閉じて廃線。
◇ 39年(1964) 9月	敦賀トンネル温泉簡易水道配湯構造物工事及び配管工事竣工。通水式挙行政。
◇ 39年(1964) 12月	市内7漁協が合併。
◇ 40年(1965) 4月	水戸市と姉妹都市盟約締結。
◇ 40年(1965) 5月	市立北幼稚園を開園。
◇ 41年(1966) 8月	敦賀電報電話局舎が完成し、ダイヤル式自動となる。
◇ 41年(1966) 11月	敦賀港湾合同庁舎が完成。
◇ 42年(1967) 3月	上水道第1次工事完成。
◇ 42年(1967) 4月	市制施行30周年記念式を行う。 矢部知恵夫氏が第10代市長に就任。
◇ 43年(1968) 5月	杉津・横浜海岸が越前加賀国定公園に指定される。
◇ 43年(1968) 7月	市立体育館が竣工。
◇ 43年(1968) 8月	動力炉・核燃料開発事業団が敦賀半島の原電サイトを「新型転換炉」の建設候補地に選定。
◇ 43年(1968) 9月	日本ニッケル敦賀工場操業を開始。
◇ 43年(1968) 10月	第23回国体バレーボールと軟式野球競技を本市で開催。天皇・皇后両陛下ご来敦。
◇ 43年(1968) 11月	港大橋竣工。
◇ 43年(1968) 12月	ソ連邦極東知事団敦賀港視察。
◇ 44年(1969) 5月	市長ら一行4人、ソ連沿岸州等を訪問。
◇ 44年(1969) 8月	大型フェリーの敦賀寄港内定。 開港70周年記念「つるが港まつり」を開催。

年代(西暦)	事 項
昭和44年(1969) 10月	日本原子力発電(株)敦賀発電所1号機臨界。
◇ 44年(1969)	この年入港ソ連船が61隻に達し、開港以来の新記録となる。
◇ 45年(1970) 3月	日本原子力発電(株)敦賀発電所が営業運転をはじめ。
◇ 45年(1970) 6月	麻生口にゴミ焼却場竣工。
◇ 45年(1970) 7月	嶺南地区広域市町村圏が地方生活圏に指定される。
◇ 45年(1970) 8月	大型フェリー「すずらん丸」の就航記念式と川崎・松栄A岸壁工事竣工式を行う。
◇ 45年(1970) 10月	北陸自動車道(高野～滋賀県柳ヶ瀬)路線発表。
◇ 45年(1970) 11月	敦賀美方消防組合本部発足。
◇ 45年(1970) 12月	動力炉・核燃料開発事業団の新型転換炉「ふげん」起工式。
◇ 46年(1971) 3月	西浦小立石分校・西愛発小駄口分校廃校。
◇ 46年(1971) 4月	矢部知恵夫氏が第11代市長に就任。 「養護老人ホーム」改築と「老人いこいの家」新築。 訪ソ青年の船出航。
◇ 46年(1971) 7月	原子力問題と自治調査団に市長・市議ら5人欧米視察に参加。
◇ 46年(1971) 10月	児童養護施設慈松園改築成る。
◇ 47年(1972) 3月	財団法人「福井原子力センター」発足。
◇ 47年(1972) 4月	「科学技術庁福井原子力連絡調整官事務所」設置される。
◇ 47年(1972) 5月	戦後初の対ソ運輸出品(繊維)積出し。 松原小学校・ハバロフスク市第47小学校と日ソ愛鳥姉妹校に決定。
◇ 47年(1972) 7月	市営第1プール完成。
◇ 47年(1972) 8月	県水産試験場浦底に移転。
◇ 47年(1972) 9月	市の乳児医療費の支給制度開始。
◇ 47年(1972) 10月	北陸トンネル列車火災発生、市に災害救援対策本部設置される。
◇ 47年(1972) 11月	木崎保育園が開園。
◇ 47年(1972) 12月	五幡小学校廃校。
◇ 48年(1973) 3月	重症児童園施設松原児童館開館。 栗野公民館完成。
◇ 48年(1973) 4月	市長日朝友好福井県代表团として朝鮮民主主義人民共和国を訪問する。
◇ 48年(1973) 5月	PCB汚染対策本部設置される。 中郷公民館完成。
◇ 48年(1973) 6月	市制施行35周年を記念して勤労福祉センター・働く婦人の家・勤労青少年体育センター完成。
◇ 48年(1973) 7月	O・A・トロヤノフスキー駐日ソ連大使来敦。 湖西線(山科～近江塩津間)開通し、北陸本線に接続。 南小学校校舎の全面改築工事完成。
◇ 48年(1973) 9月	川崎・松栄岸壁に鉱石上屋8.5クレーン完成。
◇ 48年(1973) 10月	北陸新幹線整備計画決定。(若狭ルートに決まる)
◇ 48年(1973) 11月	上水道第2次工事完成。敦賀平野一体に給水可能。つるが保育園完成。 桜ヶ谷公園完成。
◇ 49年(1974) 3月	公共下水道の基本計画決まる。
◇ 49年(1974) 4月	原子力発電訓練センター竣工式。
◇ 49年(1974) 5月	東郷公民館が完成。
◇ 49年(1974) 6月	市営第2プール完成。
◇ 49年(1974) 7月	国民健康保険東浦診療所開設。(阿曾)
◇ 49年(1974) 8月	旧市庁舎の閉庁式を行う。 新市庁舎竣工と5ヶ村合併20周年の記念式典を行う。 敦賀美方消防組合の本部庁舎竣工。
◇ 49年(1974) 9月	国鉄湖西線が全面開通。 国民健康保険東浦診療所大比田に移転新築。
◇ 49年(1974) 10月	松原公民館が開館。 栗野保育園が開園。 市営と畜場が全面改築完成。 矢部知恵夫氏が第12代市長に就任。
◇ 50年(1975) 3月	市の人口が6万人を突破。
◇ 50年(1975) 4月	愛発公民館が完成。 相生町商店街アーケード完成により敦賀駅前からのアーケード総延長2,788mとなる。
◇ 50年(1975) 7月	敦賀～ワニノ間の定期貨物配船第一船が入港。
◇ 50年(1975) 12月	ごみ焼却場30トン増設工事完成。 栗野南小学校開校。 櫛川保育園が開園。
◇ 51年(1976) 2月	大学・高校誘致期成同盟会設立総会開く。
◇ 51年(1976) 3月	第1回福井県婦人の船および訪ソ青年の船が出港。 市民文化センター建設のため旧市庁舎の惜別式を行う。
◇ 51年(1976) 4月	市長ら福井県ソ連邦極東地方港湾調査団は港湾調査および姉妹都市連携の議定書を交わす。 福井県原子力センター落成。 敦賀港の異常潮位(108cm)で市に水防本部を設置。
◇ 51年(1976) 5月	
◇ 51年(1976) 7月	
◇ 51年(1976) 8月	
◇ 51年(1976) 10月	

年代(西暦)	事 項
昭和52年(1977) 1月	敦賀～ワニノ間の定期貨物配船が月2便に増便。
◇ 52年(1977) 2月	積雪が136cmを記録し、昭和38年以來の豪雪となる。
◇ 52年(1977) 3月	青少年健全育成都市宣言を行う。
◇ 52年(1977) 4月	市立図書館が移転新築し完成。
◇ 52年(1977) 7月	市民福祉会館の竣工式を行う。
◇ 52年(1977) 8月	敦賀市高校新設準備委員会が発足。
◇ 52年(1977) 9月	敦賀港とヴォストーチヌイ港の姉妹港盟約締結の調印式を行う。
◇ 52年(1977) 11月	市民文化センターが完成し、市制40周年・市民文化センター落成記念式典を行う。
◇ 52年(1977) 12月	北陸自動車道の敦賀～武生間開通式を行う。 新総合計画の策定。
◇ 53年(1978) 3月	初の国産発電用原子炉「ふげん」臨界。 金ヶ崎(天筒山)公園展望台完成。
◇ 53年(1978) 4月	岡山、筋生野公園が完成。 市民健康センター(休日急患センター、母子健康センター)落成。
◇ 53年(1978) 5月	青少年錬成センター竣工。
◇ 53年(1978) 6月	敦賀・韓国北坪青年会議所姉妹盟約締結。
◇ 53年(1978) 7月	経済友好訪中視察団中国訪問。 栗野南小学校総合落成式を行う。
◇ 53年(1978) 8月	市営野球場ナイター施設完成(栗野、角鹿中学校にも完成)。 歴史民俗資料館開館。 敦賀駅周辺整備連絡協議会発足。
◇ 53年(1978) 9月	第7回水産増殖に関する日ソ合同シンポジウム開催。 河野海岸有料道路開通。
◇ 53年(1978) 11月	敦賀高等学校校舎改築竣工。
◇ 54年(1979) 4月	松陵幼稚園開園。 市営上屋竣工式を行う。 一般廃棄物最終処分場竣工。 高木孝一氏が第13代市長に就任。
◇ 54年(1979) 5月	中日友好使節団来敦。
◇ 54年(1979) 7月	市営庭球場竣工。国際児童年記念訪ソ少年の船出航。
◇ 54年(1979) 8月	少年自然の家竣工。
◇ 54年(1979) 9月	開港80周年記念式典。 ソ連邦ナホトカ市民親善友好使節団来敦(195人) 新港建設の調査始まる。 成新小学校池ノ河内分校校舎完成。
◇ 54年(1979) 11月	市長ら韓国親善訪問団一行東海市生誕祝賀式に出席姉妹都市縁組の議定書に調印。 北陸自動車道敦賀～米原間開通。 岡山保育園開園。 資源エネルギー庁敦賀美浜管理専門官事務所開設。 勤労青少年ホーム落成。
◇ 55年(1980) 5月	こどもの国(児童文化センターなど)竣工。 中央公民館竣工。 市民憲章の制定。 第三次市総合計画基本構想市長に答申。
◇ 55年(1980) 7月	氣比中学校校舎総合落成式。
◇ 55年(1980) 8月	市営第3プール完成。 石炭火力発電所誘致構想発表。 中国国際貿易促進委員会王耀庭氏ら一行来敦。 第1回敦賀マラソン開く。
◇ 55年(1980) 10月	帆船「海王丸」寄港一般公開。
◇ 55年(1980) 11月	敦賀美方消防組合発足10周年記念式典。 日本原子力発電(株)敦賀発電所2号機建設に係る公開ヒアリング。
◇ 55年(1980) 12月	電子計算機本稼働。
◇ 56年(1981) 1月	56豪雪積雪198cmを記録(明治30年敦賀測候所開設以来最高)。
◇ 56年(1981) 3月	第三次総合計画の策定。 駅前広場改修工事完成。
◇ 56年(1981) 4月	韓国東海市との姉妹都市盟約締結調印式。 日本原子力発電(株)敦賀発電所の放射能漏れ事故。 新和保育園落成。
◇ 56年(1981) 5月	金山バイパス(岡山～野神間)開通式。
◇ 56年(1981) 6月	松原小学校校舎改築総合落成式。 新敦賀瓦斯「敦賀ガス」として再スタート。 黒河小学校校舎改築総合落成式。 松陵中学校校舎改築総合落成式。
◇ 56年(1981) 7月	置屋100年記念で小浜線に蒸気機関車走る。 ソ連邦ナホトカ市民親善使節団一行200人來敦。 南極観測船「ふじ」入港一般公開。 第17回全日本菊花連盟全国大会開催。 栗原保育園開園。
◇ 56年(1981) 8月	
◇ 56年(1981) 9月	
◇ 56年(1981) 11月	

年代 (西暦)	事 項
昭和56年 (1981) 11月	ポリヤンスキー駐日ソ連邦大使来教。
◇ 56年 (1981) 12月	北陸電力㈱「石炭火力発電所」建設のための環境調査申し入れ。
◇ 57年 (1982) 1月	新港湾建設工事の起工式。
◇ 57年 (1982) 3月	初めての中国炭定期配船「サン・アルケス号」1万165トンが入港。
◇ 57年 (1982) 4月	中央小学校開校。 気比保育園移転改築完成。 日本原子力発電㈱敦賀発電所2号機着工。
◇ 57年 (1982) 7月	高速増殖原型炉「もんじゅ」公開ヒアリング開催。
◇ 57年 (1982) 9月	防災行政無線設置。
◇ 57年 (1982) 10月	ソ連邦ナホトカ市において姉妹都市盟約締結調印。
◇ 57年 (1982) 11月	中央小学校総合落成式。
◇ 58年 (1983) 2月	笙の川に中央橋完成。
◇ 58年 (1983) 3月	二夜の川都市下水路「松島ポンプ場」完成。 第1回市民綱引き大会開く。 三島保育園を廃止し三島南保育園を三島保育園に。 敦賀市福祉基金設置。 岡山保育園を中郷保育園に改称。
◇ 58年 (1983) 4月	津内保育園と乳児保育園を統合し本町保育園が開園。 高木孝一氏第14代市長に就任。
◇ 58年 (1983) 5月	第1回親子のフェスティバル開く。 浩宮殿下若狭路(本市では西福寺・柴田氏庭園)を訪問。 国立療養所敦賀病院の改築工事完成。 高速増殖原型炉「もんじゅ」設置許可。
◇ 58年 (1983) 7月	公共下水道供用開始。天筒浄化センター完成通水式。 第1回市民すてな祭り開く。
◇ 58年 (1983) 9月	ソ連邦ナホトカ市に姉妹都市盟約調印記念として日本庭園を造る。 “広報つるが”500号を迎える。 ソ連邦ナホトカ市民親善使節団来教。
◇ 58年 (1983) 10月	移動図書館「なかよし号」巡回サービス開始。
◇ 58年 (1983) 12月	三島会館移転新築完成。北電「石炭火力発電所」建設に同意。
◇ 59年 (1984) 3月	西愛発小・中愛発小・東愛発小が廃校に。
◇ 59年 (1984) 4月	愛発小・中学校開校。 学校給食センター完成。 東浦体育館竣工。
◇ 59年 (1984) 5月	敦賀市訪ソ親善使節団派遣。
◇ 59年 (1984) 6月	愛発小・中学校総合落成式。 北小学校総合落成式。
◇ 59年 (1984) 7月	咸新小学校プール・校舎落成式。 第1回敦賀少年の船派遣。 学校法人敦賀学園敦賀女子短期大学設置認可申請書提出。
◇ 59年 (1984) 9月	新港(鞠山北地区)の公有水面埋立免許。 韓国東海市から親善使節団来教。
◇ 59年 (1984) 10月	追悼120年水戸烈士展開催。
◇ 59年 (1984) 11月	敦賀市公設地方卸売市場開場。
◇ 60年 (1985) 3月	白木トンネルが開通する。 粟野小学校・沓見小学校増改築工事が完成。 ナホトカ市から友好親善と日本料理研究のため使節団が来教。 中央港湾審議会が敦賀港新港湾計画の変更が認められる。
◇ 60年 (1985) 4月	敦賀・北坪定期フェリー-早期就航促進期成同盟会が設立。
◇ 60年 (1985) 6月	敦賀市史通史編上巻発刊。 第2次日韓親善友好訪韓船で約400人が韓国を訪れる。
◇ 60年 (1985) 9月	気比神宮、昭和の大造営始まる。 ナホトカ市民親善使節団が来教。
◇ 60年 (1985) 10月	高速増殖原型炉「もんじゅ」建設工事が始まる。
◇ 60年 (1985) 11月	第1回福井県菊花大会が本市で開かれる。 中国黒龍江省賓県、鶏西市から使節団が来教。 東海市北坪・敦賀定期フェリー-早期就航推進委員会一行が来教。
◇ 60年 (1985) 12月	敦賀女子短期大学、敦賀気比高校設置認可される。
◇ 61年 (1986) 1月	「西町の綱引き」国の重要無形文化財に指定される。
◇ 61年 (1986) 3月	公共下水道事業第2期計画(笙の川以西約250ha)事業許可を受ける。 葉原小学校・西小学校増改築工事が完成。 中郷小学校・粟野中学校増築工事が完成。
◇ 61年 (1986) 4月	敦賀女子短期大学開学。 敦賀気比高等学校開校。 松原保育園が完成。

年代 (西暦)	事 項
昭和61年 (1986) 5月	復元北前船「辰悦丸」が寄港し、一般公開される。 日本原子力発電㈱敦賀発電所2号機初臨界。
◇ 61年 (1986) 7月	敦賀工業高等学校総合完成式。 敦賀市友好訪中使節団の一行が中国東北部を訪問。
◇ 61年 (1986) 8月	第1回訪ソ児童親善使節団がナホトカを訪問。
◇ 61年 (1986) 10月	皇太子ご夫妻が若狭路をご訪問、中央公民館での国際フォーラムにご出席される。
◇ 61年 (1986) 12月	福井厚生年金健康福祉センター「サンピア敦賀」オープン。
◇ 62年 (1987) 2月	日本原子力発電㈱敦賀発電所2号機営業運転を始める。
◇ 62年 (1987) 3月	西浦小・中学校落成式。 健康管理センターが完成。 県道柳ヶ瀬トンネル開通式。
◇ 62年 (1987) 4月	総合運動公園陸上競技場の竣工式を行う。 高木孝一氏が第15代市長に就任。
◇ 62年 (1987) 5月	気比神宮の本殿などが完成し、正遷座祭、奉幣祭が行われる。
◇ 62年 (1987) 7月	敦賀(中〜坂ノ下)・金山(坂ノ下〜岡山)バイパスが開通。 市制50周年を記念し野坂山市民登山が行われる。
◇ 62年 (1987) 8月	市制50周年記念のシンボル塔「翔(はばた)き」が完成。 総合運動公園野球場竣工式。 ナホトカ市民親善使節団が来教。 気比神宮大鳥居保存修理完成。 市立敦賀病院の増改築工事が完成。
◇ 62年 (1987) 10月	市制50周年記念式典を行う。
◇ 62年 (1987) 11月	敦賀新港公共岸壁の一部を併用開始。
◇ 63年 (1988) 2月	敦賀女子短期大学第2代学長に瀬戸内寂聴さんが就任する。
◇ 63年 (1988) 4月	敦賀気比高等学校付属中学校が開校。 常宮小学校落成式が行われる。 東浦小・中学校落成式が行われる。 プロ野球セ・リーグ公式戦(中日対ヤクルト)が行われる。 北陸電力㈱敦賀火力発電所起工式が行われる。
◇ 63年 (1988) 5月	総合運動公園ちびっ子広場、多目的広場が供用開始となる。
◇ 63年 (1988) 6月	敦賀西小学校プールの竣工式を行う。
◇ 63年 (1988) 7月	敦賀南小学校・中郷小学校プール竣工式を行う。 第3セクター嶺南ケーブルネットワーク(都市型CATV)発足。
◇ 63年 (1988) 8月	気比神宮大鳥居の夜間照明が始まる。
◇ 63年 (1988) 10月	水戸天狗党ウォーク一行が水戸より1,100kmを歩き新保に到着。 駅前ガス灯が設置される。 角鹿中学校屋内運動場完成。
◇ 63年 (1988) 12月	心身障害者福祉センター「太陽の家」落成式を行う。
平成元年 (1989) 3月	総合運動公園テニスコート・ちびっ子ゲレンデ完成。
◇ 元年 (1989) 5月	気比神宮昭和の大造営第2期工事竣工奉告祭が営まれる。
◇ 元年 (1989) 6月	総合運動公園に日本庭園の修景池が完成。
◇ 元年 (1989) 7月	開港90周年記念式典。
◇ 元年 (1989) 9月	第4次敦賀市総合計画基本構想答申。
◇ 元年 (1989) 10月	岐阜県各務原市との友好都市盟約締結。
◇ 元年 (1989) 11月	CATV本放送開始。
◇ 2年 (1990) 1月	第4次敦賀市総合都市計画基本計画答申。
◇ 2年 (1990) 2月	敦賀港ポータルネッサンス21調査委員会の最終案まとまる。
◇ 2年 (1990) 4月	敦賀北幼稚園と北公民館竣工。 縄間2号線(県道佐田・立石・敦賀線)開通。
◇ 2年 (1990) 7月	沓見小学校プール竣工。 動力炉・核燃料開発事業団PR館アトムプラザ完成。 県道敦賀〜今庄線、舞崎踏切に信号機設置。
◇ 2年 (1990) 9月	水戸烈士記念館(にしん蔵)修復完成。
◇ 2年 (1990) 10月	敦賀〜釜山間定期コンテナ船第一船入港。 御船遊管絃祭(金崎宮)が48年ぶりに復活。
◇ 2年 (1990) 11月	プラザ萬象落成記念式典。
◇ 3年 (1991) 1月	市立敦賀病院に超電導MRIシステム導入。 ソ連ワニノ港からの定期配船復活第一船入港。
◇ 3年 (1991) 2月	沓見保育園の改築移転。
◇ 3年 (1991) 3月	敦賀新港供用開始。 国道8号線局部改良開通(小河口〜疋田間)。
◇ 3年 (1991) 4月	総合運動公園体育館竣工。 高木孝一氏第16代市長に就任。
◇ 3年 (1991) 5月	環にほん海(東海)国際芸術祭が開催。
◇ 3年 (1991) 7月	産業経済部に国際交流貿易課を新設。

年代 (西暦)	事 項
平成 3年 (1991) 7月	葉原小学校プール竣工。 敦賀市民間廃棄物最終処分場対策協議会設立。
◇ 3年 (1991) 8月	市立図書館落成オープン。 福井県対岸貿易促進協会敦賀事務所開所。
◇ 3年 (1991) 10月	北陸電力㈱敦賀火力発電所営業運転開始。
◇ 3年 (1991) 11月	ごみの5分別収集が始まる。 新港で大型多目的クレーンの起動式を行う。 清掃センター火入れ式。
◇ 4年 (1992) 2月	西公民館開館。
◇ 4年 (1992) 3月	敦賀市清掃センター総合落成。 消防緊急通信指令システム運用開始。
◇ 4年 (1992) 4月	南公民館開館。
◇ 4年 (1992) 5月	「洲崎の高燈籠」が福井県史跡に指定される。 赤崎小学校落成。
◇ 4年 (1992) 6月	敦賀市友好親善使節団派遣(ナホトカ市で花火大会開催)。 山形依希子さん(敦賀高校3年)が陸上・女子400障害で57秒65の日本新記録樹立。
◇ 4年 (1992) 7月	総合運動公園ローラー滑り台竣工。 白木漁港完成。 東浦小学校プール竣工。 CATV全市内工事完成。
◇ 4年 (1992) 8月	地縁団体の認可指令書第1号交付式(津内町3丁目)
◇ 4年 (1992) 10月	気比神宮御造営事業竣工。
◇ 4年 (1992) 11月	工芸品「孔雀鎗金経箱」(西福寺所有)が重要文化財に答申される。
◇ 5年 (1993) 1月	旧大和田銀行本店(市立歴史民俗資料館)、常宮神社のフジ、鶴神社のカゴノキを市文化財に指定。
◇ 5年 (1993) 3月	金山保育園落成。 昭和浄水場第2配水池完成。
◇ 5年 (1993) 4月	一般国道27号線金山バイパス開通。 北陸電力㈱敦賀火力発電所2号機増設設計書の申し入れ。 市立和幸園増改築工事完成。
◇ 5年 (1993) 5月	国際交流嶺南センター開所。
◇ 5年 (1993) 6月	JC青年の船「環日本海号」ロシア派遣。
◇ 5年 (1993) 7月	在日外国人高齢者福祉手当支給開始。 市立歴史民俗資料館が市立博物館に名称変更。 総合運動公園ゲートボール場竣工。
◇ 5年 (1993) 8月	大阪ガス㈱敦賀LNG基地計画環境調査の実施について申し入れ。
◇ 5年 (1993) 10月	北陸電力㈱敦賀火力発電所2号機・大阪ガス㈱敦賀LNG基地計画環境調査開始。
◇ 5年 (1993) 11月	原子力発電所の新設・増設に関する住民投票条例制定を求める請求が提出され、12月に開かれた市議会臨時会で否決となる。 敦賀市斎苑工事安全祈願祭。 橋本進吉博士顕彰歌碑の除幕式。
◇ 6年 (1994) 1月	市立看護専門学校落成式。
◇ 6年 (1994) 2月	公立敦賀准看護学院開校式。
◇ 6年 (1994) 3月	高速増殖原型炉「もんじゅ」臨界。 敦賀市老人デイサービス事業開始。 新規コンテナ航路就航記念式典。
◇ 6年 (1994) 4月	敦賀市総合運動公園弓道場竣工式。 日韓スポーツ交流大会開会式。 '94ふくい国際芸術祭・国際交流広場・民俗芸能大会。
◇ 6年 (1994) 5月	高規格救急自動車・救急救命士業務運用開始式。
◇ 6年 (1994) 6月	市立敦賀病院東診療棟竣工式。 神楽町1丁目・本町1丁目アーケード起工式。 敦賀市粟野スポーツセンター落成式。 敦賀港金ヶ崎地区岸壁工事着手。
◇ 6年 (1994) 7月	阪神・淡路大震災の災害見舞救援物資搬送。
◇ 6年 (1994) 8月	敦賀菴苑竣工式。 河瀬一治氏第17代市長に就任。
◇ 6年 (1994) 9月	金山体育館起工式。
◇ 6年 (1994) 10月	第77回全国高等学校野球選手権大会で敦賀気比高校ベスト4進出。 敦賀港が「港湾景観形成モデル事業」に指定される。 松原海岸が「事前環境保全型海岸整備モデル事業」に認定される。 防災対策室を設置し、各務原市・向日市と災害時相互応援協定を締結。 高速増殖原型炉「もんじゅ」二次系ナトリウム漏えい事故発生
◇ 7年 (1995) 12月	敦賀市雪害対策本部が12年ぶりに設置される。
◇ 8年 (1996) 2月	一般国道476号線・国道8号バイパス17工区開通。
◇ 8年 (1996) 3月	敦賀〜大連・青島港(中国)間定期コンテナ航路開設。

年代 (西暦)	事 項
平成 8年 (1996) 5月	姉妹都市韓国東海市へ「敦賀市民の船」派遣。
◇ 8年 (1996) 6月	超高速フェリー「すずらん・すいせん」就航。 「敦賀市行政改革大綱」策定。
◇ 8年 (1996) 8月	「原子力政策円卓会議」敦賀市で開催。 第5次敦賀市総合計画基本構想答申。
◇ 8年 (1996) 9月	街あかり創出事業道路照明灯点灯開始。
◇ 8年 (1996) 12月	敦賀〜丹東港(中国)間定期コンテナ航路開始。 近畿自動車道敦賀線全線整備計画決定。
◇ 9年 (1997) 1月	ロシアタンカー油流出事故敦賀市災害対策本部設置。
◇ 9年 (1997) 2月	第5次敦賀市総合計画基本計画答申。
◇ 9年 (1997) 3月	シンボルロード化整備事業の工事が着手される。 北陸電力㈱敦賀火力発電所2号機の起工式が行われる。 中郷体育館落成式。
◇ 9年 (1997) 4月	「緊急告知放送」が「防災放送」へ切り替えられ、内容が充実された。
◇ 9年 (1997) 5月	「みなどつるが山車会館」開館。1ヶ月足らずで1万人達成。 敦賀市インターネットホームページ開設。 敦賀〜上海港(中国)間定期コンテナ航路開設。
◇ 9年 (1997) 6月	敦賀港開港100周年記念事業実行委員会設立。 市制施行60周年記念「スーパバーレーボール大会」開催。 嶺南広域行政組合設置。
◇ 9年 (1997) 7月	第79回全国高等学校野球選手権大会で敦賀気比高校ベスト8進出。
◇ 9年 (1997) 11月	市制60周年記念式典開催。
◇ 10年 (1998) 3月	市営松原海水浴場「日本の海水浴場55選」に認定される。
◇ 10年 (1998) 4月	プール完成で「総合運動公園」総合完成。
◇ 10年 (1998) 9月	ハートフル・スクール(集団生活適応指導、教育相談)開所。 J24全日本選手権敦賀大会開催。 コミュニティバス「はぎ号」運行開始。 バスケットボール日本リーグ(女子)敦賀大会開催。 全国原子力発電所所在市町村協議会創設30周年記念事業開催。 敦賀市防災総合訓練実施。
◇ 10年 (1998) 10月	福井県若狭湾エネルギー研究センター落成式。
◇ 10年 (1998) 11月	近畿自動車道敦賀線全線施工命令が出される。
◇ 10年 (1998) 12月	五木ひろしさんによる開港100周年イメージソング発表会(3曲)開催。
◇ 11年 (1999) 1月	五木ひろしさんによる開港100周年イメージソング発表会(3曲)開催。
◇ 11年 (1999) 2月	鞠山南地区多目的国際ターミナル起工式。
◇ 11年 (1999) 3月	福祉総合センター「あいあいプラザ」落成式。 近畿自動車道敦賀線(小浜〜敦賀間)中心杭打式。 中郷スポーツ広場竣工。
◇ 11年 (1999) 4月	25年ぶりに「大相撲敦賀場所」開催。 情報公開及び個人情報保護制度答申。 河瀬一治氏第18代市長に就任。
◇ 11年 (1999) 7月	シンボルロードに彫刻像設置。 日本原子力発電㈱敦賀発電所2号機一次冷却水漏えい事故発生。 敦賀〜新潟〜秋田〜苫小牧に定期フェリー就航。 敦賀港開港100周年記念事業「つるが・きらめきみなと博21」開催。
◇ 11年 (1999) 8月	中国台州市と友好協議書調印。
◇ 11年 (1999) 8月	敦賀高校が19年ぶりに夏の甲子園出場。
◇ 11年 (1999) 9月	大阪ガス㈱がLNG基地計画の10年延期を発表。
◇ 11年 (1999) 10月	きらめきみなと館オープン。
◇ 11年 (1999) 10月	情報公開制度スタート。
◇ 12年 (2000) 1月	北陸電力㈱敦賀火力発電所2号機火入れ式。
◇ 12年 (2000) 2月	市民温泉施設温泉掘削工事安全祈願祭。 日本原子力発電㈱敦賀発電所3・4号機増設事前了承願受理。
◇ 12年 (2000) 3月	初の住民参加による原子力防災訓練実施。
◇ 12年 (2000) 4月	介護保険制度スタート。
◇ 12年 (2000) 6月	きらめきスタジアム落成式。 民間廃棄物最終処分場の早期終息についての要望書を知事へ提出。 敦賀市から初めての衆議院議員(高木 毅氏)誕生。
◇ 12年 (2000) 7月	北陸幹線(南越(仮称)・敦賀間)環境影響評価準備書公表。 民間廃棄物最終処分場問題対策協議会発足。
◇ 12年 (2000) 9月	防災公園(松島中央公園)完成。
◇ 12年 (2000) 10月	粟野公民館落成式。 都市計画マスタープランまとまる。
◇ 12年 (2000) 12月	もんじゅ工事計画事前了承願受理。
◇ 13年 (2001) 1月	「敦賀市雪害対策本部設置」(積雪95cm)

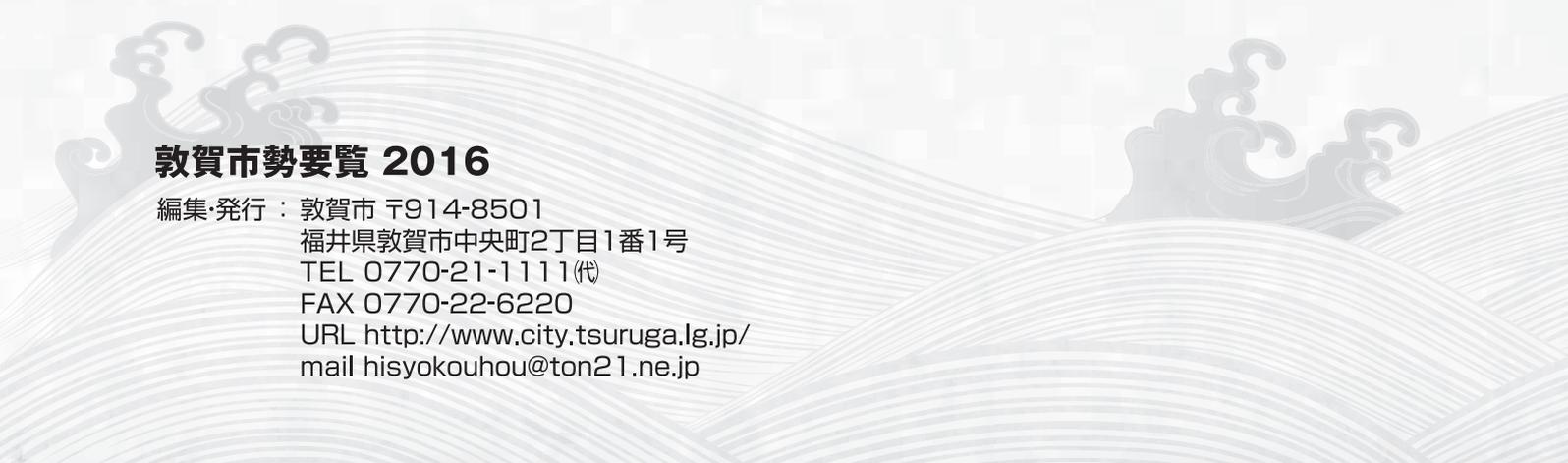
年代 (西暦)	事 項
平成13年 (2001) 3月	敦賀市役所がISO14001の認証を取得。
◇ 13年 (2001) 4月	敦賀警察署神宮前警部交番が完成。
◇ 13年 (2001) 5月	敦賀消防署気比分遣所庁舎が気比神宮前へ移転。
◇ 13年 (2001) 7月	敦賀港外国貿易定期コンテナ航路の増便。 敦賀港～釜山港間 1便増。
◇ 13年 (2001) 9月	敦賀市水道水源保護条例公布。
◇ 13年 (2001) 11月	中国浙江省台州市と姉妹都市提携調印。
◇ 14年 (2002) 1月	敦賀港CFS(コンテナフレートステーション)竣工。
◇ 14年 (2002) 2月	福井県敦賀原子力防災センター(オフサイトセンター)開設。
◇ 14年 (2002) 3月	黒河保育園落成式。 第5次敦賀市総合計画第2期基本計画策定。 第3次敦賀市行政改革大綱策定。 大阪ガス株敦賀LNG基地建設計画の中止を決定。
◇ 14年 (2002) 6月	近海郵船(株)「RORO船」敦賀～苫小牧に航路開設。
◇ 14年 (2002) 7月	港都つるが株式会社設立。
◇ 14年 (2002) 8月	住民基本台帳ネットワークシステム稼動。 東郷コミュニティセンター落成式。 近畿自動車道敦賀線設計協議調印。
◇ 14年 (2002) 10月	敦賀～青島港間直行航路開設。
◇ 14年 (2002) 11月	衛生処理場クリーンピア落成。 JR湖西線・北陸本線直流化基本合意調印。
◇ 14年 (2002) 12月	敦賀さくらめき温泉リラ・ポートオープン。 日本原子力発電(株)敦賀発電所3・4号機増設計画事前了解。
◇ 15年 (2003) 1月	高速増殖原型炉「もんじゅ」設置許可無効の判決。
◇ 15年 (2003) 2月	戸籍総合システム稼動。
◇ 15年 (2003) 3月	JR小浜線電化開業。 敦賀港「金ヶ崎臨港トンネル」および「金ヶ崎緑地」供用開始。 新型転換炉原型炉「ふげん」発電所運転終了。
◇ 15年 (2003) 4月	河瀬一治氏第19代市長に就任。
◇ 15年 (2003) 6月	生涯学習センターオープン。
◇ 15年 (2003) 7月	西公民館を元中央公民館へ移転。
◇ 15年 (2003) 9月	新型転換炉原型炉「ふげん」開発業務終了。
◇ 15年 (2003) 10月	JR湖西線・北陸本線直流化工事着工。
◇ 16年 (2004) 3月	栗野駅併設施設オープン(JR栗野駅)。 国道476号木ノ芽峠トンネル開通式(敦賀市新保～今庄町上坂取)。
◇ 16年 (2004) 4月	敦賀市男女共同参画推進条例施行。
◇ 16年 (2004) 5月	沓見地区のお田植祭りが18年ぶりに復活。
◇ 16年 (2004) 6月	JR直流化活性化・利用促進協議会設立。 敦賀市指定文化財新指定 国立福井病院のユーカリの木 1株。 「洪水ハザードマップ」全戸配布。
◇ 16年 (2004) 7月	日本原子力発電(株)敦賀発電所3・4号機工事着工。
◇ 16年 (2004) 8月	国道8号バイパス19工区本格着工。
◇ 16年 (2004) 10月	つるが・みなと浪漫(若狭路もてなし「食」フェア)つるが／つるが観光物産フェア2004)。
◇ 16年 (2004) 11月	敦賀市子育て総合支援センター開所。 北陸新幹線南越敦賀間工事実施計画認可申請決定。
◇ 17年 (2005) 2月	リラ・ポート菜場者50万人達成。 もんじゅのナトリウム漏えい対策等に係る工事計画了解。
◇ 17年 (2005) 3月	愛発小中学校 最後の卒業式 21年の歴史に幕。
◇ 17年 (2005) 4月	北・南公民館に民間人材を登用。 市立敦賀病院北診療棟竣工式。
◇ 17年 (2005) 5月	遊行のお砂持ち 11年ぶりに行われる。
◇ 17年 (2005) 6月	敦賀市産業団地調印式 (株)アイケープラストと契約(進出企業第1号)
◇ 17年 (2005) 9月	敦賀市男女共同参画都市宣言。
◇ 17年 (2005) 10月	原子力安全基盤機構が福井事務所を設置。 第20回国民文化祭・ふくい2005が開幕。敦賀市では「邦楽の祭典」、「能楽の祭典」、「俳句大会」、「華のフェスティバル」などを行う。
◇ 17年 (2005) 11月	敦賀インターに大型歓迎塔を設置。
◇ 17年 (2005) 12月	北陸新幹線南越～敦賀間工事実施計画認可申請。
◇ 18年 (2006) 1月	敦賀市産業団地調印式 (株)巴川ファインコーティング(現(株)TFC)と契約(進出企業第2号)。
◇ 18年 (2006) 3月	葉原小学校閉校式を開催。 第4次敦賀市行政改革大綱を策定。
◇ 18年 (2006) 4月	市民活動支援室が男女共同参画センターに開設。 東浦公民館(五幡)完成。
◇ 18年 (2006) 7月	みなと観光交流促進プロジェクトに敦賀港が選ばれる。
◇ 18年 (2006) 8月	AEDを市の公共施設及び市立小中学校に配備。
◇ 18年 (2006) 9月	遊教塾がスタート。
◇ 18年 (2006) 10月	JR新疋田駅が完成。

年代 (西暦)	事 項
平成18年 (2006) 10月	敦賀高校創立100周年記念式典を開催。 JR湖西線・北陸線直流化開業。つるが海道浪漫2006。つるが観光物産フェアなど多数の直流化開業イベントが催される。
◇ 18年 (2006) 12月	市立敦賀病院第3次整備事業完了。
◇ 19年 (2007) 3月	リラ・ポート入浴者100万人達成。 赤崎最終処分場が完成。 敦賀市第5次総合計画第3期基本計画を策定。
◇ 19年 (2007) 4月	公立幼稚園、小学校、中学校が2学期制試行を実施。つるがFM・ハーバーステーション開局。 河瀬一治氏第20代敦賀市長に就任。
◇ 19年 (2007) 6月	敦賀～釜山港間定期航路が1年ぶりに週1便体制復活。
◇ 19年 (2007) 7月	献血運動推進全国大会のため、皇太子殿下が来敦。 循環型社会を目指した三者協定を締結。(敦賀市・福井県民生活協同組合・敦賀市消費者連絡協議会)
◇ 19年 (2007) 11月	市制施行70周年記念式典を開催。 エネルギー連携大学拠点化構想が策定される。
◇ 20年 (2008) 1月	敦賀市防災センター完成。
◇ 20年 (2008) 3月	人道の港 敦賀ムゼウム開館。
◇ 20年 (2008) 4月	西福寺建造物が国の重要文化財に指定。
◇ 20年 (2008) 9月	敦賀港鞆山地区の「多目的国際ターミナル」が一部供用開始。
◇ 20年 (2008) 11月	国の名勝「柴田氏庭園」が敦賀市に寄附される。 国道8号線敦賀バイパスが全線開通。
◇ 21年 (2009) 2月	敦賀～釜山定期コンテナ航路が増便。週3便体制に。
◇ 21年 (2009) 3月	市内のスーパー、ドラッグストアなどで一斉にレジ袋有料化。 敦賀鉄道資料館がオープン。 木崎保育園落成式。
◇ 21年 (2009) 4月	敦賀水産卸売市場が新しくオープン。
◇ 21年 (2009) 5月	皇室献穀粟 27年ぶりに敦賀で奉耕。
◇ 21年 (2009) 8月	敦賀港開港110周年記念行事の開催。
◇ 21年 (2009) 10月	「奥の細道」敦賀サミットの開催。
◇ 21年 (2009) 11月	主要地方道佐田竹波敦賀線「馬背峠トンネル」が開通。
◇ 21年 (2009) 12月	市内路線バスをコミュニティバスに一本化。
◇ 22年 (2010) 2月	日本原子力発電(株)敦賀発電所1号機の40年超え運転について、6年間の運転延長を了承。 第82回選抜高等学校野球大会で敦賀気比高校ベスト8進出。
◇ 22年 (2010) 3月	APECジュニアフォーラムを敦賀市で開催。 敦賀西小学校グラウンドから敦賀城の一部とみられる礎石などが出土したと発表。
◇ 22年 (2010) 4月	市立博物館が「旧大和田銀行本店」として県文化財に指定される。
◇ 22年 (2010) 5月	大町田遺跡から古墳時代の絵土器片が出土。 高速増殖原型炉「もんじゅ」が14年5ヶ月ぶりに運転再開。
◇ 22年 (2010) 6月	APECエネルギー大臣会合記念事業開催。
◇ 22年 (2010) 8月	敦賀港が全国の重要港湾(103港)の中から「重点港湾」(43港)に選ばれる。 防災情報受信機(防災ラジオ)の市民への貸与開始。 第6次敦賀市総合計画基本構想を策定。
◇ 22年 (2010) 9月	台風9号が観測史上初、敦賀市付近に直接上陸。
◇ 22年 (2010) 10月	敦賀港鞆山南地区多目的国際ターミナルが全面供用開始。 中郷公民館が落成。
◇ 22年 (2010) 11月	敦賀市農産物直売所「ふるさと夢市場」オープン。
◇ 23年 (2011) 1月	計測開始以来初めて地下水位低下警報を発令。 大雪により交通網がまひ。敦賀市雪害対策本部を設置(積雪78cm)。
◇ 23年 (2011) 2月	市議会3月定例会で、平成21年度市歳入歳出決算が不認定となる。決算不認定は43年ぶり。
◇ 23年 (2011) 3月	東日本震災の被災地へ救援物資を搬送。被災者救援のため医師、看護師らが若手県陸前高田市へ出発。 西浦児童館休館式。
◇ 23年 (2011) 4月	敦賀美方消防組合の敦賀・美浜・三方消防団に初の女性団員が誕生。 人道の港 敦賀ムゼウム入館者5万人達成。 河瀬一治氏第21代敦賀市長に就任。 被災地支援のため宮城県山元町へ保健師を派遣。 第6次敦賀市総合計画前期基本計画答申。
◇ 23年 (2011) 6月	危機管理監として木村孝氏が副市長に就任。
◇ 23年 (2011) 8月	被災地支援のため宮城県石巻市へ市職員を派遣。

年代 (西暦)	事 項
平成23年 (2011) 8月	国際交流員としてイスラエルからミハル・ハダド氏が着任。 リラ・ポート入浴者200万人達成。 第6次敦賀市総合計画実施計画策定。
◇ 23年 (2011) 9月	金ヶ崎緑地沿岸でジンベエザメが発見され多くの人で賑わう。 台風15号の影響で井の口川が増水。敦賀市で初めての避難勧告を「筋生野・萩野町」に発令。
◇ 23年 (2011) 10月	敦賀市認知症高齢者及び障がい者徘徊等ネットワーク協議会設立。
◇ 23年 (2011) 11月	敦賀港が「国際フェリー・国際RORO船」分野で日本海側拠点港に選定される。 北陸新幹線敦賀までの着工認可方針決定。
◇ 23年 (2011) 12月	福井大学附属国際原子力工学研究所が完成。
◇ 24年 (2012) 2月	県内の全ての原子力発電所が停止。 新和さみどり保育園が完成。 新和保育園・和久野保育園園式。
◇ 24年 (2012) 4月	敦賀市教育委員会独自教育カリキュラム「敦賀スタンダード」完成。 沓見児童クラブが完成。 舞鶴若狭自動車道「敦賀南スマートIC(仮称)」の連結が許可される。 敦賀消防署消防訓練センターが完成。
◇ 24年 (2012) 5月	敦賀西小学校総合落成式。
◇ 24年 (2012) 6月	北陸新幹線金沢・敦賀間が着工認可される。
◇ 24年 (2012) 7月	中池見湿地がラムサール条約湿地に登録される。 敦賀・長浜間鉄道開通130周年などを記念した「つるが「鉄道と港」フェスティバル」が開催される。
◇ 24年 (2012) 8月	市立博物館(旧大和田銀行本店)が建物修復工事のため休館。 ロシア・ナホトカ市長が来敦し姉妹都市締結30周年を記念した共同宣言に調印。
◇ 24年 (2012) 10月	岩手県大槌町からの災害廃棄物の試験焼却を実施。 栗野子育て支援センターが完成。 中国との定期航路が6年ぶりに復活。
◇ 24年 (2012) 11月	JR敦賀駅のバリアフリー化工事が完成。
◇ 24年 (2012) 12月	岩手県大槌町の災害廃棄物の量が大幅に減少したことを受けて、敦賀市の受け入れを中止。
◇ 25年 (2013) 1月	敦賀短期大学で最後の卒業式と開学式。27年の歴史に幕。 敦賀市立子ども発達支援センター開所式。 敦賀市立看護大学設置認可申請書を提出。 第85回選抜高等学校野球大会で敦賀気比高校がベスト4に進出。
◇ 25年 (2013) 4月	白木区の「門ヶ崎」を市文化財(名勝)に指定。
◇ 25年 (2013) 5月	日本原子力発電(株)敦賀発電所2号機直下の破砕帯が、原子力規制委員会から「耐震設計上考慮する活断層」と評価される。 産業団地に(株)ナ・デックスプロダクツの研究開発施設が完成。
◇ 25年 (2013) 6月	敦賀市地域防災計画を改定。
◇ 25年 (2013) 7月	2018年福井国体の開催が内定。
◇ 25年 (2013) 8月	世界少年野球大会福井大会が開催。
◇ 25年 (2013) 9月	敦賀まつり カーニバル大行進に東京ディズニーリゾートスペシャルパレードが登場。 台風18号の影響で市内全域に「土砂災害に関する避難勧告」を発令。福井地方気象台が運用後初の「大雨特別警報」を発表。 高木毅衆議院議員が国土交通副大臣に就任。 博物館通り「テナントミックス」の3店舗がオープン。歴史的な街並みの整備を行う。 敦賀市立看護大学が設置認可。 産業団地に日本ゼオン(株)の新工場が完成。 県建設のコンテナ貨物荷さばき施設「鞆山南コンテナ・フレート・ステーション(CFS)」が完成。 敦賀港の年間国際コンテナ貨物取扱量が3万TEUに達し、過去最高を記録。
◇ 25年 (2013) 10月	人道の港 敦賀ムゼウム入館者10万人達成。
◇ 25年 (2013) 11月	奈良県の4市と原子力災害時における敦賀市民の県外広域避難に関する協定を締結。
◇ 25年 (2013) 12月	西浦中学校休校。
◇ 26年 (2014) 2月	敦賀市立看護大学開学。 敦賀駅交流施設「オルパーク」オープン。 「命のビザ」で敦賀港に上陸したレオ・メラメド氏が73年ぶりに敦賀を再訪。 舞鶴若狭自動車道(若狭さとうみハイウェイ)が全線開通。
◇ 26年 (2014) 3月	
◇ 26年 (2014) 4月	
◇ 26年 (2014) 7月	

年代 (西暦)	事 項
平成26年 (2014) 11月	敦賀港イルミネーション「ミライエ」開催。
◇ 27年 (2015) 1月	北陸新幹線の金沢敦賀間の開業3年前倒しが正式決定。 常宮小学校・西浦小学校休校。
◇ 27年 (2015) 3月	第87回選抜高等学校野球大会で敦賀気比高校が北陸勢初の優勝。 洲上隆信氏第22代敦賀市長に就任。 日本原子力発電(株)敦賀発電所1号機が運転を終了。
◇ 27年 (2015) 5月	市道西浦1号線暫定供用開始。
◇ 27年 (2015) 7月	市立博物館リニューアルオープン。 2018年福井国体の開催が正式決定。
◇ 27年 (2015) 10月	敦賀駅前広場が竣工、供用開始。 復興大臣に高木毅衆議院議員就任。 敦賀赤レンガ倉庫リニューアルオープン。
◇ 27年 (2015) 11月	原子力規制委員会が文部科学大臣に高速増殖原型炉もんじゅの運営主体の変更を勧告





## 敦賀市勢要覧 2016

編集・発行：敦賀市 〒914-8501  
福井県敦賀市中央町2丁目1番1号  
TEL 0770-21-1111(代)  
FAX 0770-22-6220  
URL <http://www.city.tsuruga.lg.jp/>  
mail [his yokouhou@ton21.ne.jp](mailto:his yokouhou@ton21.ne.jp)